

愛知学院大学短期大学部
2023 年度学生生活アンケート結果

愛知学院大学学生委員会および学生部学生課は、「本学での学生生活の現状を把握し、今後の学生生活をより充実したものにするために、本学としてどのようなことをしなければならないかを知るために」、平成元年（1989 年）から、後 3 年もしくは 4 年ごとに「学生生活アンケート」を実施している。

愛知学院大学短期大学部歯科衛生学科においても、完成年度を迎えた平成 20 年（2008 年）度に第 1 回の「学生アンケート」を実施し、その後、平成 25 年（2013 年）度に第 2 回、平成 28 年（2016 年）度に第 3 回、令和元年（2019 年）度に第 4 回、令和 3 年（2021 年）度に第 5 回、令和 4 年（2022 年）度に第 6 回を実施し、今回、第 7 回、令和 5 年（2023 年）度アンケートを実施した。なお、アンケートは、令和元年（2019 年）度より IR・キャリアサポート委員会によって実施され、また、調査対象に専攻科が追加された（全学年のデータは専攻科生を含む）。さらに、令和 3 年（2021 年）度からは毎年実施することとなった。

従来のアンケートは、教室内でアンケート用紙に回答する形で実施されてきたが、令和 3 年（2021 年）度は新型コロナウイルス感染症の蔓延により教室内での実施が困難となり、初めて Forms を利用したオンラインアンケートとなった。令和 4 年（2022 年）度、令和 5 年（2023 年）度も同様の方法で実施した。令和 5 年（2023 年）度の実施期間は、令和 5 年（2023 年）11 月 29 日～令和 5 年（2023 年）12 月 31 日である。

アンケートの設問事項は平成 25 年（2013 年）に愛知学院大学学生委員会および学生部学生課によって行われた「学生生活アンケート」に準じて設定されたが、その後、短期大学部の実情や時代背景等を考慮して、見直し変更している。令和 3 年（2021 年）度のアンケート項目は、概ね令和元年（2019 年）度に準じているが一部変更した。令和 4 年（2022 年）度、令和 5 年（2023 年）度は、令和 3 年（2021 年）度のアンケート項目と同じ内容での実施であった。

令和 5 年（2023 年）度アンケート実施時の在籍者数は、1 年生 107 名、2 年生 103 名、3 年生 103 名、専攻科生 10 名である。回答が得られた学生数は、1 年生 105 名（回答率 98.1%）、2 年生 101 名（同 98.1%）、3 年生 100 名（同 97.1%）、専攻科生 10 名（同 100.0%）で、全体で 97.8%の回答率あった。令和 4 年（2022 年）度の回答率が各学年とも低かったため、令和 5 年（2023 年）度のアンケート実施は、全学年とも講義終了時に教室内で、Forms を利用したオンラインアンケートを行った。なお、当日の欠席者に対しては、令和 5 年（2023 年）12 月 31 日までに回答するように指示した。これにより、全学年とも高い回収率となったと考える。

コロナ禍での学生生活は、かつて経験した事のないものであったが、2023 年 5 月 8 日から、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けも 5 類感染症に移行され、令和 5 年（2023 年）度は、流行前と同様な「学生生活」を送ることができたのではないと思われる。

1. 基本情報

[問3]現在の住居形態を選択してください。

1. 自宅
2. 自宅外（下宿等）

問3表 全学年の選択肢別割合（％）

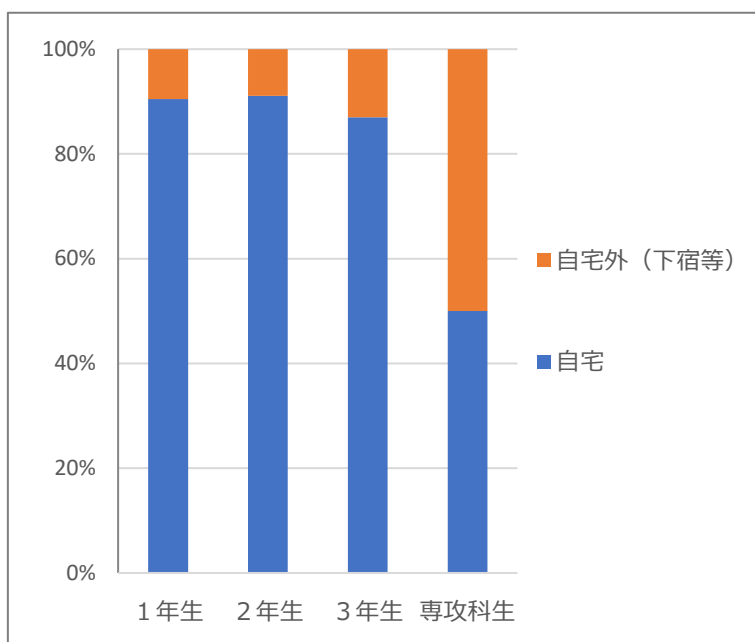
回答内容	今回	前回
1. 自宅	88.3	90.8
2. 自宅外（下宿等）	11.7	9.2
合計	100	100

この設問は、学生の住居形態について、回答を求めた。

全体としては、「自宅」が圧倒的に多く、前回と比較しても、ほとんど変化がみられなかった。

学年別では、「自宅外」は専攻科生で多く半数であった。1年生、2年生、3年生では「自宅外」は同程度で少なかった。

現在の居住形態



[問4]授業料等の学費は誰が支払っているか選択してください。

1. 全額家庭から払っている
2. 半分以上は家庭から払っている
3. 全額奨学金で払っている

4. 半分以上は奨学金で払っている
5. 全額自分のアルバイト代で払っている
6. 半分以上は自分のアルバイト代で払っている
7. その他

問4表 全学年の選択肢別割合（％）

回答内容	今回	前回
1. 全額家庭から支払っている	73.7	71.9
2. 半分以上家庭から支払っている	9.5	9.7
3. 全額奨学金で支払っている	3.5	3.8
4. 半分以上奨学金で支払っている	11.4	13.0
5. 全額自分のアルバイト代で支払っている	0.6	0.0
6. 半分以上は自分のアルバイト代で支払っている	0.9	0.5
7. その他	0.3	1.1
合計	100	100

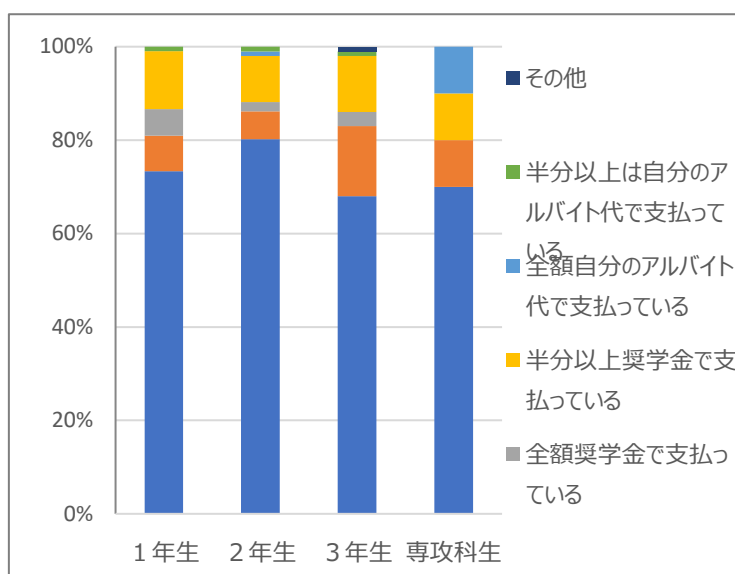
この設問では、学費の支払い者は誰かについて回答を求めた。

全体としては、「全額家庭から支払っている」学生が約 74.0％を占める。次いで、「半分以上奨学金で支払っている」、「半分以上家庭から支払っている」、「全額奨学金で支払っている」の順である。

前回と比較すると、「奨学金」（「全額奨学金で支払っている」＋「半分以上奨学金で支払っている」）で払っている学生の割合は、前回 16.8％、今回 14.9％とほぼ同程度である。

学年別にみると、「全額家庭から支払っている」学生は 1 年生 73.3％、2 年生 80.2％、3 年生 68.0％、専攻科生 70.0％と、2 年生で家庭への依存度が高いことがわかる。一方、「全額あるいは半分以上奨学金」で支払っている学生の割合は、1 年生 18.1％、2 年生 11.9％、3 年生 15.0％、専攻科生 10.0％で、専攻科生の奨学金への依存度は最も低く、経済的に恵まれた家庭環境が比較的多いと思われる。

学費の支払者



[問 5]家庭からもらっている月あたりの金額を選択してください。

1. もらっていない
2. 30,000 円未満
3. 30,000～50,000 円未満
4. 50,000 円以上

問 5 表 全学年の選択肢別割合（％）

回答内容	今回	前回
1. もらっていない	70.9	71.9
2. 30,000円未満	18.7	19.5
3. 30,000円以上50,000円未満	5.7	5.9
4. 50,000円以上	4.7	2.7
合計	100	100

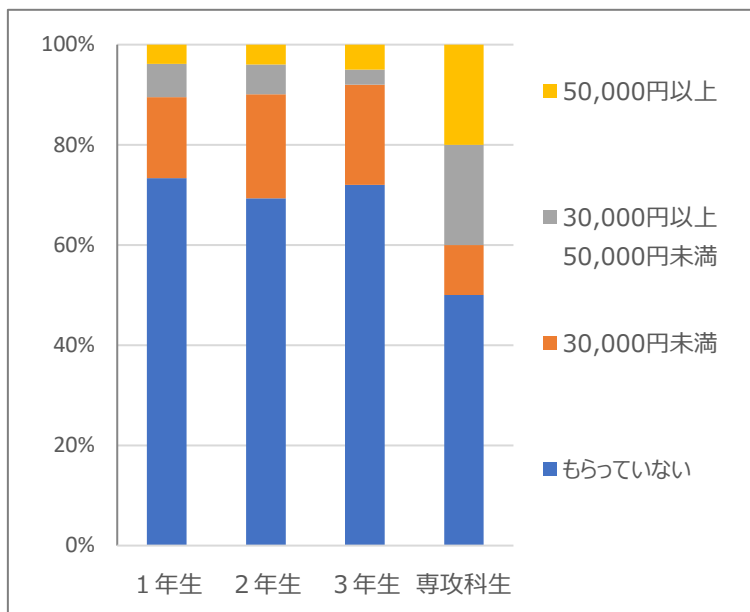
この設問では、家庭からもらう 1 ヶ月あたりの小遣いの額について回答を求めた。

全体としては、小遣いを「もらっていない」学生が 70.9%を占め、もらっている学生より多い。もらっている学生も「30,000 円未満」が 18.7%で、89.6%の学生は小遣いを「もらっていない」か、もらっていても「30,000 円未満」である。

前回と比較すると、小遣いをもらっていない学生は同程度である。

学年別にみると、「もらっていない」学生は 1 年生 73.3%，2 年生 69.3%，3 年生 72.0%，専攻科生 50.0%で、1～3 年生では学年による差はあまりなかったが、専攻科生で少なかった。

小遣いの金額



[問 6]平均睡眠時間を選択してください。

1. 3 時間未満

2. 3時間以上 5時間未満
3. 5時間以上 7時間未満
4. 7時間以上 9時間未満
5. 9時間以上

問 6 表 全学年の選択肢別割合（％）

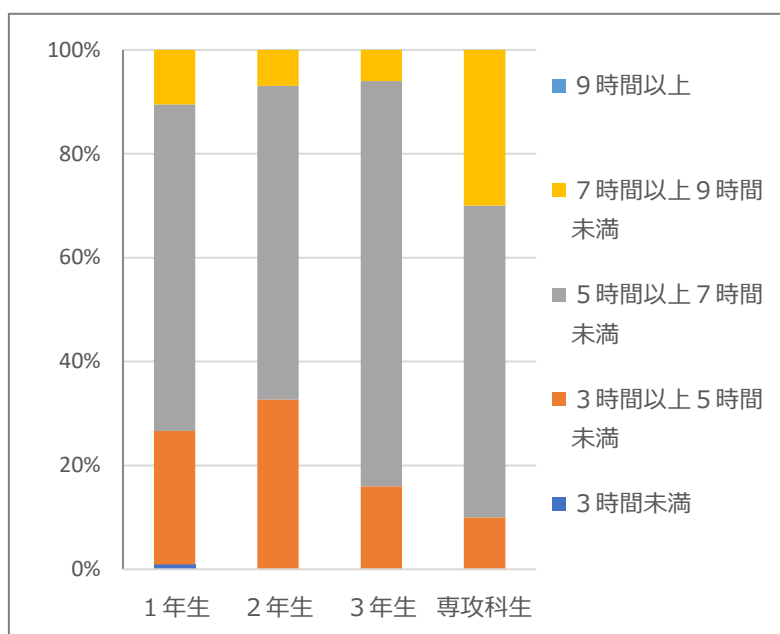
回答内容	今回	前回
1. 3時間未満	0.3	0.0
2. 3時間以上 5時間未満	24.4	27.6
3. 5時間以上 7時間未満	66.8	61.6
4. 7時間以上 9時間未満	8.5	10.3
5. 9時間以上	0.0	0.5
合計	100	100

この設問では、普段の睡眠時間について回答を求めた。

睡眠時間は「5時間以上 7時間未満」が最も多く 66.8％、次いで「3時間以上 5時間未満」24.4％、「7時間以上 9時間未満」8.5％であり、前回と同様の傾向がみられる。

学年別に比較すると、睡眠時間が比較的短い「3時間以上 5時間未満」は、1年生 25.7％、2年生 32.7％、3年生 16.0％、専攻科生 10.0％で、比較的長い「7時間以上 9時間未満」は、1年生 10.5％、2年生 6.9％、3年生 6.0％、専攻科生 30.0％である。睡眠時間の短い学生は1年生、2年生に多く、睡眠時間の長い学生は専攻科生に多い。

平均睡眠時間



2. 通学状況

[問 7]現在どこに住んでいるか選択してください。

1. 名古屋市内
2. 名古屋市以外の愛知県
3. 岐阜県
4. 三重県
5. 静岡県
6. その他

問 7 表 全学年の選択肢別割合（％）

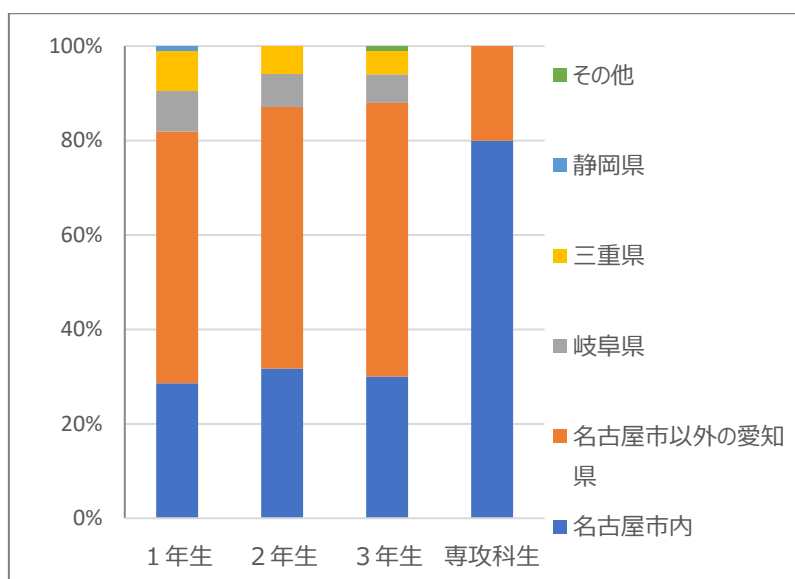
回答内容	今回	前回
1. 名古屋市内	31.6	32.4
2. 名古屋市以外の愛知県	54.4	58.4
3. 岐阜県	7.0	5.4
4. 三重県	6.3	3.8
5. 静岡県	0.3	0.0
6. その他	0.3	0.0
合計	100	100

この設問では、どこに住んでいるかについて回答を求めた。

全体としては、「名古屋市以外の愛知県」に住む学生が半数以上を占め、次いで「名古屋市内」、「岐阜県」、「三重県」の順である。この傾向は、前回とほとんど同じである。

学年別に見ると、「名古屋市内」に住む学生は、1年生 28.6％、2年生 31.7％、3年生 30.0％、専攻科生 80.0％と、専攻科生に多い。逆に、「岐阜県」、「三重県」に住む学生は1年生に多く、「愛知県」に住む学生は専攻科生で 100.0％、1～3年生ではどの学年も 8割以上であった。

現在の住所



[問 8]次の中から現在利用している通学手段を選択してください。(複数回答可)

1. 電車
2. バス
3. 自転車
4. 徒歩
5. その他

問 8 表 全学年の選択肢別割合 (%)

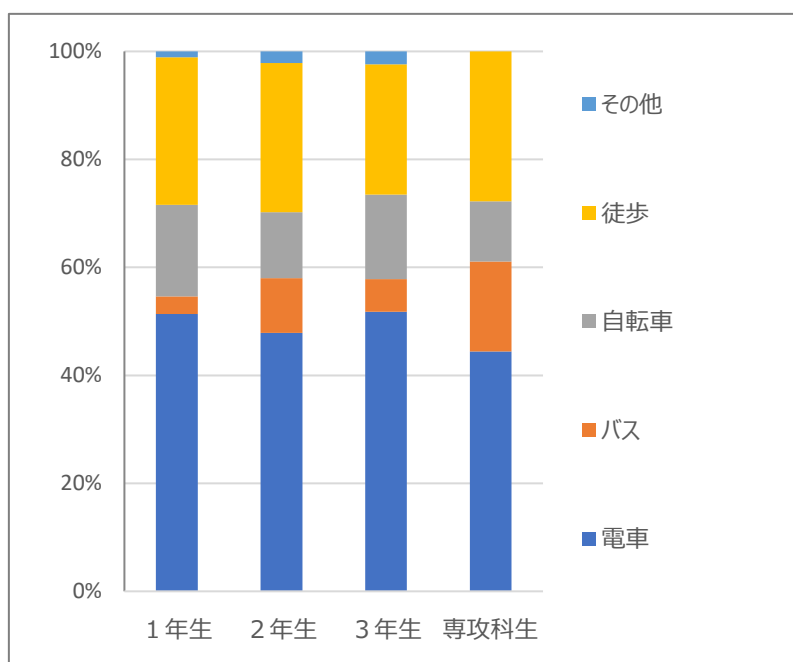
回答内容	今回	前回
1. 電車	50.1	46.7
2. バス	6.8	8.5
3. 自転車	14.8	16.5
4. 徒歩	26.5	25.9
5. その他	1.8	2.3
合計	100	100

この設問では、キャンパスまでの通学手段について回答を求めた。複数回答が可能であり、選択肢数は1年生 183、2年生 188、3年生 166、専攻科生 18、合計 555 である。図は各学年における総回答者数に対する割合を示す。

全体としては、電車が最も多く、次いで、徒歩、自転車、バスの順であり、前回と同様の傾向である。

学年別にみると、電車は1年生 51.4%、2年生 47.9%、3年生 51.8%、専攻科生 44.4%と、専攻科生でやや少ないが、1～3年生ではほぼ同じ割合である。「徒歩」は1年生 27.3%、2年生 27.7%、3年生 24.1%、専攻科生 27.8%で、ほぼ同じ割合である。「自転車」は1年生 16.9%、2年生 12.2%、3年生 15.7%、専攻科生 11.1%で1年生と3年生に多い。

通学手段



[問 9]平均通学所要時間（片道）を選択してください。

1. 1 時間未満
2. 1 時間以上 2 時間未満
3. 2 時間以上

問 9 表 全学年の選択肢別割合（％）

回答内容	今回	前回
1. 1 時間未満	44.3	45.9
2. 1 時間以上 2 時間未満	53.2	51.4
3. 2 時間以上	2.5	2.7
合計	100	100

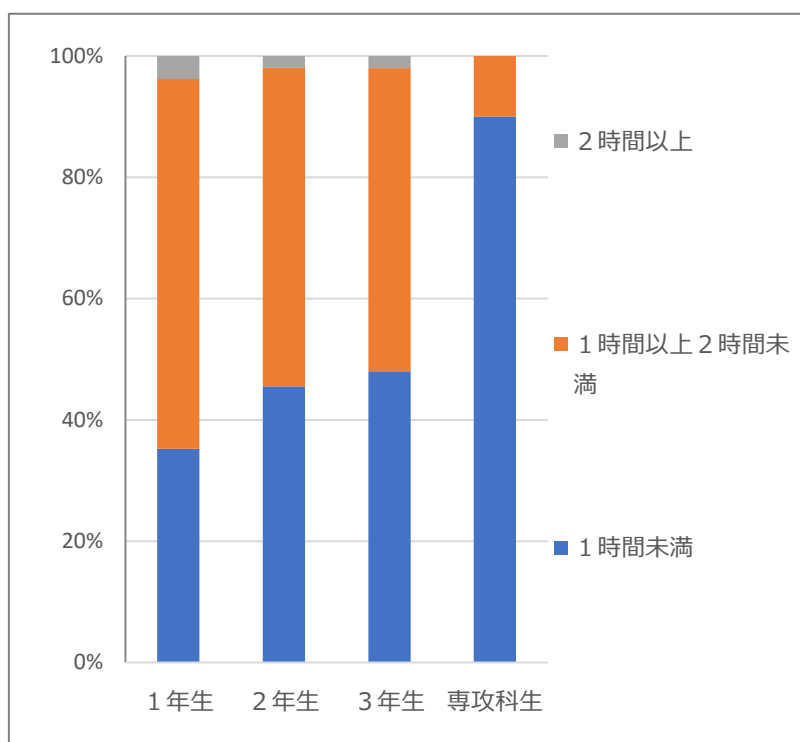
この設問では、片道の通学時間がどれくらいかについて回答を求めた。

全体としては、通学時間が「1 時間未満」の学生が 44.3%、「1 時間～2 時間未満」が 53.2%と両者で 97.5%を占める。

前回と比較すると、「1 時間～2 時間未満」が増加し、「1 時間未満」、「2 時間以上」が減少している。

学年別にみると、1, 2, 3 年生ともに、「1 時間未満」と「1 時間以上 2 時間未満」がほとんどであり、専攻科はほとんどが「1 時間未満」であった。

通学所要時間（片道）



3. 大学生活

[問 10]授業以外で教員と話をすることはありますか。

1. よくある
2. ときどきある
3. ほとんどない
4. 全くない

問 10 表 全学年の選択肢別割合（％）

回答内容	今回	前回
1. よくある	3.2	2.7
2. ときどきある	25.9	26.5
3. ほとんどない	45.9	51.4
4. まったくない	25.0	19.5
合計	100	100

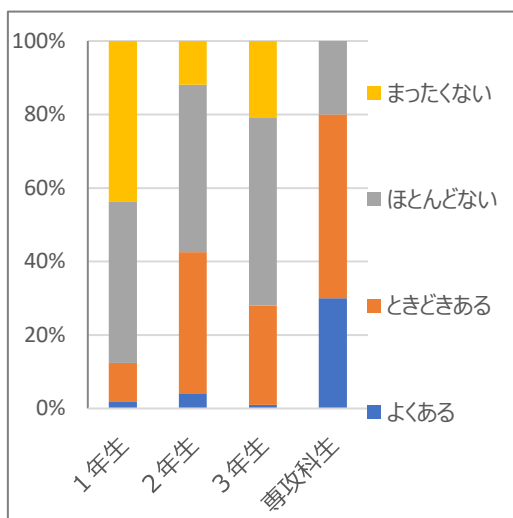
この設問では、授業以外でどのくらいの頻度で教員と会話をするかについて回答を求めた。

全体としてみると、教員との「会話がある」（「よくある」＋「ときどきある」）学生の割合は 29.1%、「会話がな」（「ほとんどない」＋「まったくない」）学生は 70.9%である。

前回と比較すると、「ときどきある」、「ほとんどない」学生が減少し、「よくある」、「まったくない」学生が増加した。

学年別にみると、「会話がある」学生の割合は 1 年生では 12.4%であるが、2 年生で 42.6%、3 年生では 28.0%と増加している。特に 2 年生で多い。専攻科生は 80.0%と多くの学生が授業以外で教員と会話している。学年が上がるにつれて教員とよく話す傾向にある。学年が進むと、カリキュラムの中で実習の占める割合が増えるにしたがい、教員と身近に接する機会が多くなり、授業以外でも教員との会話が増えると考えられる。

教員との会話の頻度



[問 11] 昼食をおもにどこで食べるか選択してください。

1. 自宅（下宿含む）で食べる
2. 短大部棟講義室（空き教室）で食べる
3. 短大部棟 2 階マグネットラウンジで食べる
4. 薬学部棟 1 階学生ホールで食べる
5. 4 号館学食で食べる
6. 歯学部附属病院の食堂で食べる
7. 歯学部附属病院の更衣室で食べる
8. 歯学部附属病院の講義室で食べる
9. 学外の飲食店で食べる
10. ほとんど食べない
11. その他

問 11 表 全学年の選択肢別割合（％）

回答内容	今回	前回
1. 自宅（下宿先を含む）	1.6	2.2
2. 短大部棟講義室（空き教室）	50.3	0.0
3. 短大部棟 2 階マグネットラウンジ	20.6	21.6
4. 薬学部棟 1 階学生ホール	3.2	0.0
5. 4 号館学食	1.9	2.7
6. 歯学部附属病院食堂	6.3	18.9
7. 歯学部附属病院更衣室	9.8	53.5
8. 歯学部附属病院講義室	1.6	0.0
9. 学外の飲食店	0.0	0.0
10. ほとんど食べない	0.3	1.1
11. その他	4.4	0.0
合計	100	100

この設問では、昼食をどこでとるかにについて回答を求めた。

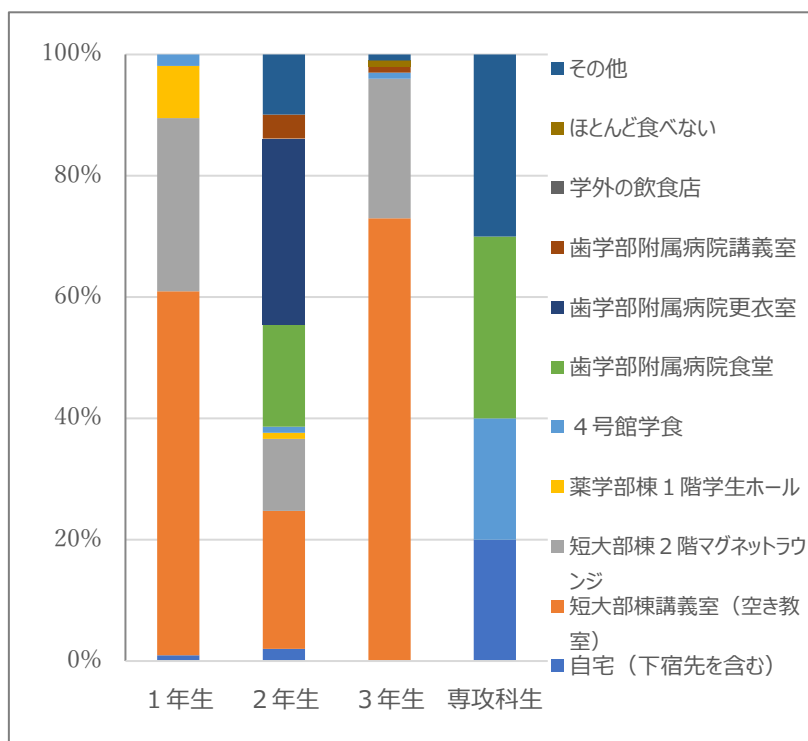
全体としては、昼食を「ほとんど食べない」学生はほとんどいない。昼食に関しても規則正しい食生活をしている。また、「学外の飲食店で食べる」学生もいない。食事を提供する学内施設は、楠元キャンパスには 4 号館食堂があり、末盛キャンパスには歯学部附属病院食堂がある。また、食事は提供されないが短大部棟にマグネットラウンジが設置され多くの学生が利用している。しかし、最も多いのは「講義室」であることから自宅からの弁当持参か、コンビニなどで購入した弁当を利用していると思われる。もちろん、食事を提供する施設においても弁当の利用はできる。

本学科は、1 年生、2 年生の春学期、3 年生の秋学期は楠元キャンパスで授業および基礎実習を、2 年生の秋学期、3 年生の春学期、専攻科生は主に歯学部附属病院で臨床実習を行っているため、昼食をとる場所は楠元キャンパスと歯学部附属病院では異なる。楠元キャンパスでは、「講義室」で昼食をとる学生が最も多く、次いで、「短大部棟 2 階マグネットラウンジ」、「薬学部棟 1 階学生ホール」の順であり、この 3 カ所ではほとんどの学生が昼食をとっている。コロナウイルス感染症の感染拡大をうけ「薬学部棟 1 階学生ホール」は使用禁止となっていたため、昨年度の利用者は 0 人であった。しかし本年度は使用が許可されたため、人数は少ないが、利用者がいる。4 号館食堂は食事を提供できるようになっているが、利用者は少ない。主に歯学部附属病院で臨床実習を行っている期間は、多くの学生が「歯学部附属病院更衣室」で昼

食をとっている。また、「自宅（下宿を含む）」で昼食をとる学生は前回とほぼ同程度で少ない。

学年別に見ると、「講義室」を利用する学生は、1年生 60.0%、2年生 22.8%、3年生 73.0%、専攻科生 0.0%であり、短大部棟2階マグネットラウンジ」を利用する学生は、1年生 28.6%、2年生 11.9%、3年生 23.0%、専攻科生 0.0%である。「講義室」と「短大部棟2階マグネットラウンジ」は2年生の利用が少ない。また、「歯学部附属病院更衣室」を利用する学生は2年生で 30.7%と多い。これは、アンケートを取った時点で2年生が臨床実習期間であったことが関係していると思われる。一方専攻科生は、臨床実習を行っている場合は「歯学部附属病院食堂」を利用し、楠元キャンパスにいる場合は専攻科専用の控室で昼食をとっている可能性が高い。

昼食の摂取場所



[問 12]学内の図書館情報センターをどの程度利用しているか選択してください。

1. ほぼ毎日利用している
2. 週に2～3日利用している
3. 1ヶ月に数日利用している
4. テスト前やレポート提出のときだけ利用している
5. ほとんど利用していない

問 12 表 全学年の選択肢別割合（％）

回答内容	今回	前回
1. ほぼ毎日利用している	0.0	0.0
2. 週に 2 ～ 3 日利用している	1.6	0.0
3. 1 か月に数日利用している	1.6	3.2
4. テスト前やレポート提出のときだけに利用している	15.8	24.9
5. ほとんど利用していない	81.0	71.9
合計	100	100

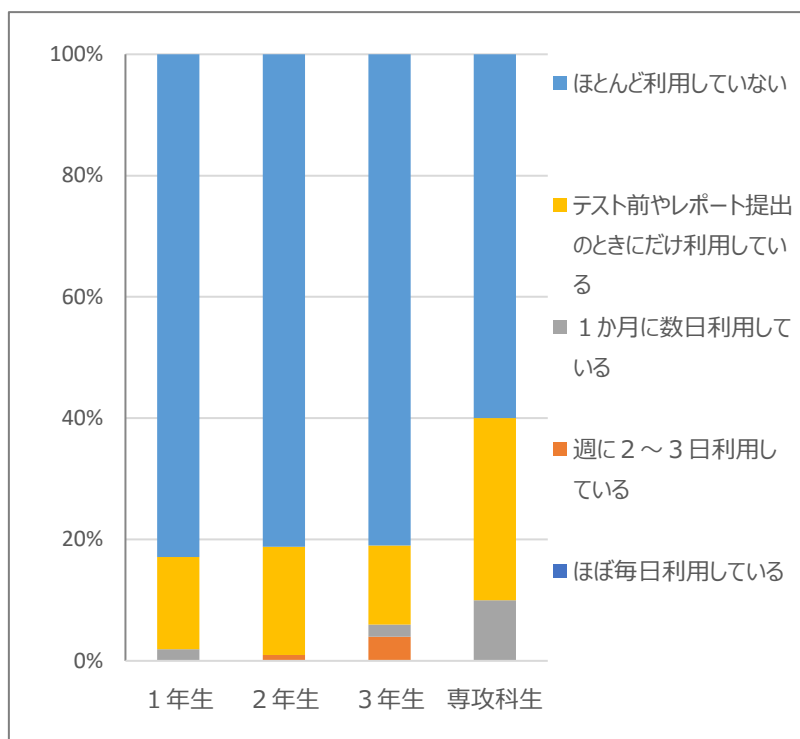
この設問では、図書館（歯学・薬学図書館情報センター）の利用頻度について回答を求めた。

全体としては、「ほとんど利用してしない」学生が 8 割以上を占める。利用する学生は「テスト前やレポート提出のときだけ利用している」学生が多く、定期的に図書館を利用している学生は少数である。

前回と比較すると、利用している学生は減少し、「ほとんど利用していない」が増加している。

学年別にみると、「ほとんど利用していない」学生は 1 年生 82.9%，2 年生 81.2%，3 年生 81.0%，専攻科生 60.0%と、1～3 年生は、各学年とも 8 割の学生が図書館を利用していない。利用する学生ではいずれの学年も、「テスト前やレポート提出のときだけ利用している」学生が多く、その割合も 1 年生 15.2%，2 年生 17.8%，3 年生 13.0%，専攻科生 60.0%であり専攻科生でやや高い。専攻科生に定期試験はないが専攻研究のため、図書館所蔵の専門書を参照する必要があると思われる。

図書館の利用頻度



[問 13] 1 日の平均勉強時間はどのくらいか選択してください。

1. ほとんどしない
2. 約 1 時間
3. 約 2 時間
4. 約 3 時間以上
5. 特に決まっていない

問 13 表 全学年の選択肢別割合（％）

回答内容	今回	前回
1. ほとんどしない	36.4	29.7
2. 1 時間程度	28.2	33.0
3. 2 時間程度	12.0	12.4
4. 3 時間以上	3.2	3.8
5. 特に決まっていない	20.3	21.1
合計	100	100

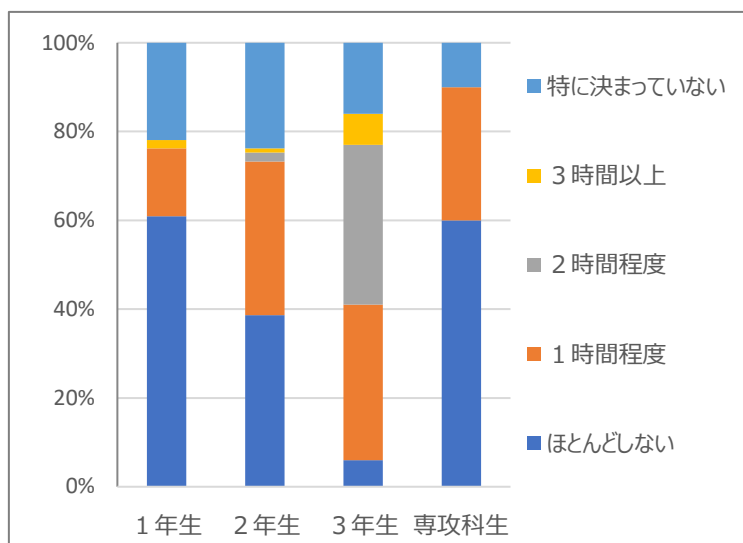
この設問では、1 日の平均勉強時間はどれくらいかについて回答を求めた。

全体としてみると、勉強時間は「約 1 時間」と「ほとんどしない」で 6 割以上を占めている。次いで、「特に決まっていない」が 20.3%である。3 時間以上勉強する学生は 3.2%しかいない。一方、「ほとんどしない」が 36.4%である。「特に決まっていない」学生は、試験前、レポート提出時などに勉強時間が増すのだと思われる。

前回と比較すると、「ほとんどしない」が増加し、「約 1 時間」、「約 2 時間」、「約 3 時間以上」、「特に決まっていない」が減少した。毎日の勉強習慣が身につけていない学生が増加していると考えられる。

学年別にみると、「ほとんどしない」学生の割合は、1 年生で 61.0%、2 年生で 38.6%、3 年生 6.0%で学年が上がるに従い減少しているが、専攻科生も 60%と 1 年生とほぼ同程度に多い。

1 日の平均勉強時間



[問 14]学内に学生相談室が開設されているのを知っていますか。

1. 知っている
2. 知らない

問 14 表 全学年の選択肢別割合（％）

回答内容	今回	前回
1. 知っている	19.3	18.9
2. 知らない	80.7	81.1
合計	100	100

この設問では、学生相談室が開設されていることを知っているかについて回答を求めた。

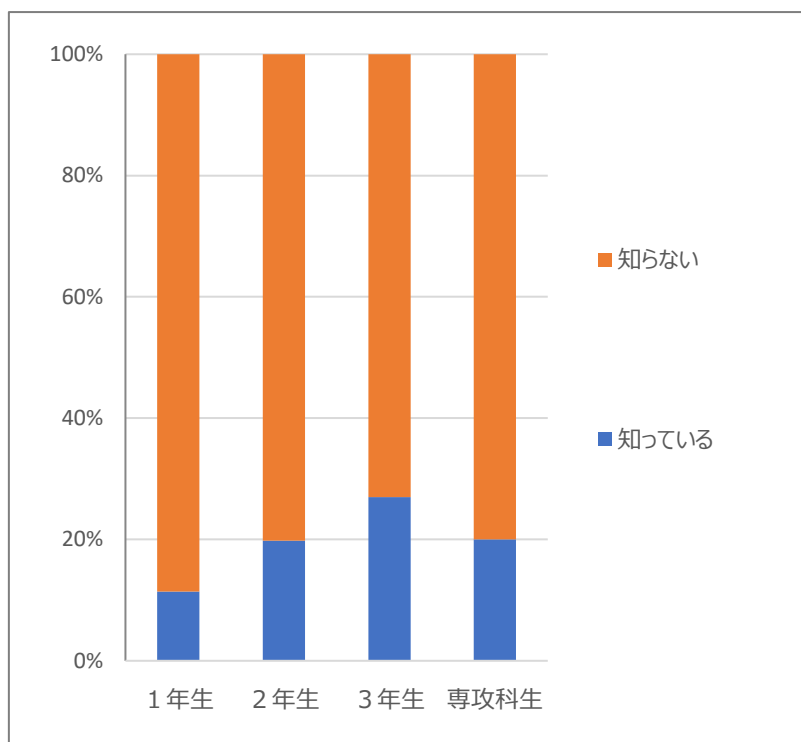
学生相談室が開設されていることを「知っている」学生は約 2 割、「知らない」学生が約 8 割であった。

学生相談室についての周知方法を検討する必要がある。

前回と比較しても同様の傾向である。

学年別にみると、「知っている」学生は、1 年生で 11.4％、2 年生で 19.8％と少ないが、3 年生では 27.0％と学年が上がるにつれて増加傾向にある。しかし、専攻科生では 20.0％と 2 年生と同程度であった。

学生相談室の認知度



[問 15] 学生相談室の利用状況について選択してください。

1. 利用したことがあり、これからも機会があれば利用したい
2. 利用したことがあるが、これからは利用したくない
3. 利用したいが、行きにくい
4. 利用したことはないが、必要があれば利用したい
5. 利用したことがなく、今後も利用しないと思う

問 15 表 全学年の選択肢別割合（％）

回答内容	今回	前回
1. 利用したことがあり、これからも機会があれば利用したい	1.9	0.5
2. 利用したことがあるが、これからは利用したくない	0.0	0.0
3. 利用したいが、行きにくい	2.2	1.1
4. 利用したことはないが、必要があれば利用したい	44.0	53.0
5. 利用したことがなく、今後も利用しないと思う	51.9	45.4
合計	100	100

この設問では、学生相談室の利用状況について回答を求めた。

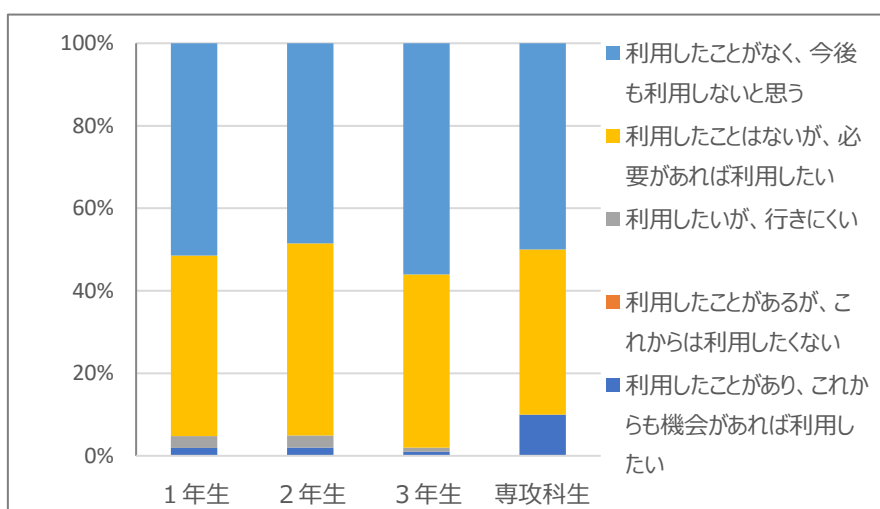
全体としてみると、[問 14] で「知っている」と回答した学生が 19.3%いたのに対し、実際に利用したことがある学生は約 1.9%に過ぎない。また、「利用したことはないが、必要があれば利用したい」学生は 44.0%いる。一方で、「利用したことがなく、今後も利用しないと思う」学生も 51.9%と約半数いた。

前回と比較すると、「利用したことはないが、必要があれば利用したい」学生が減少し、「利用したことがなく、今後も利用しないと思う」学生が増加している。

このように、学生相談室は「利用したことがなく、今後も利用しないと思う」学生が 50%以上いる。学生には、学生相談室が「気軽に行けるところ」、「個人のプライバシーが確実に守られるところ」、「様々な種類の相談が出来るところ」などであることを周知させる必要があると考えられる。

学年別にみると、「利用したことがあり、これからも利用したい」学生は、1～3 年生および専攻科生ともに殆どいない。

学生相談室の利用状況



[問 16]次の中から悩んでいることを選択してください。(複数回答可)

1. 勉学の問題
2. 就職等、将来の進路の問題
3. 対人・異性関係の問題
4. 家庭内の問題
5. 性格・能力の問題
6. 経済上の問題
7. 思想・生き方の問題
8. 健康の問題
9. その他
10. 特にない

問 16 表 全学年の選択肢別割合 (%)

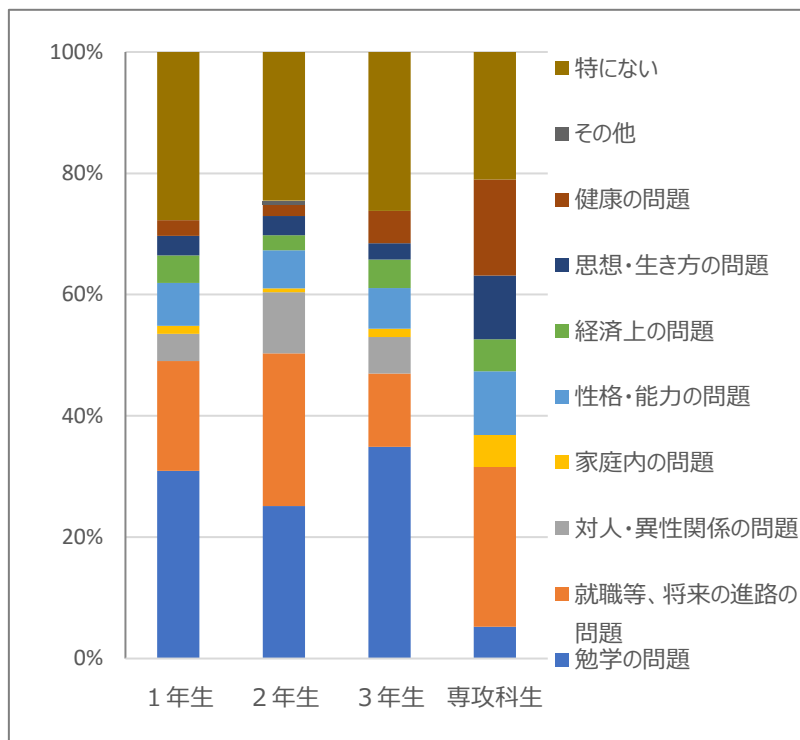
回答内容	今回	前回
1. 勉学の問題	29.3	27.0
2. 就職等、将来の進路の問題	18.9	23.4
3. 対人・異性関係の問題	6.6	6.6
4. 家庭内の問題	1.2	1.3
5. 性格・能力の問題	6.8	6.3
6. 経済上の問題	3.9	4.3
7. 思想・生き方の問題	3.3	3.6
8. 健康の問題	3.7	5.3
9. その他	0.2	0.0
10. 特にない	25.9	22.4
合計	100	100

この設問では、現在どのようなことを悩んでいるかについて回答を求めた。複数回答が可能であり、選択肢数は1年生 155、2年生 159、3年生 149、専攻科生 19、合計 482 である。図は各学年における総回答者数に対する割合を示す。

全体としては、悩んでいることが「特にない」学生が 25.9%いる。悩み事で多いのは「勉学の問題」および「就職等、将来の進路の問題」である。次いで「性格・能力の問題」、「対人・異性関係の問題」が続く、他の項目は 5%以下である。前回と比較すると、「特にない」学生の割合がやや増加している。悩み事の順位は、前回とほぼ同一である。

学年別にみると、悩み事が「特にない」学生は1年生 27.7%、2年生 24.5%、3年生 26.2%、専攻科生 21.1%であり、専攻科生で悩みが少なくなっている。とくに、「勉学の問題」に悩む学生は、1年生 31.0%、2年生 25.2%、3年生 34.9%、専攻科 10.0%である。勉学に悩む学生はどの学年にもいるが、特に国家試験を控えている3年生が多くなっている。一方、専攻科生には勉学に悩む学生は少ない。これは、国家試験から開放されたことや、元々、勉学に悩むことのない学生が専攻科に進学していることによるのかも知れない。「就職等将来の進路の問題」に悩む学生は、1年生 18.1%、2年生 25.2%、3年生 12.1%、専攻科 26.3%と、特に2年生に多く3年生で減少し、専攻科生に増えている。2年生にはまだ歯科衛生士としての将来が鮮明ではないのに対し、3年生では迷うことのない明確な目標になって、さらに専攻科では学生であると同時に歯科衛生士としての経験を積んだことにより将来についての悩みが出てくるのかもしれない。

現在の悩んでいること



[問 17]誰に悩み事の相談をするか選択してください。(複数回答可)

1. 家族（身内）に相談する
2. 学内の友人に相談する
3. 学外の友人に相談する
4. クラブ・サークルの先輩に相談する
5. 教員に相談する
6. 事務職員に相談する
7. 学生相談室のカウンセラーに相談する
8. 学外の医師、カウンセラー等に相談する
9. 適当な相談相手がいない
10. その他

問 17 表 全学年の選択肢別割合（％）

回答内容	今回	前回
1. 家族（身内）	33.5	32.4
2. 学内の友人	30.6	31.1
3. 学外の友人	31.0	30.4
4. クラブ・サークルの先輩	0.3	0.4
5. 教員	2.0	2.0
6. 事務職員	0.7	1.1
7. 学生相談室のカウンセラー	0.3	0.2
8. 学外の医師・カウンセラー	0.0	0.7
9. 適当な相談相手がない	1.4	1.3
10. その他	0.3	0.2
合計	100	100

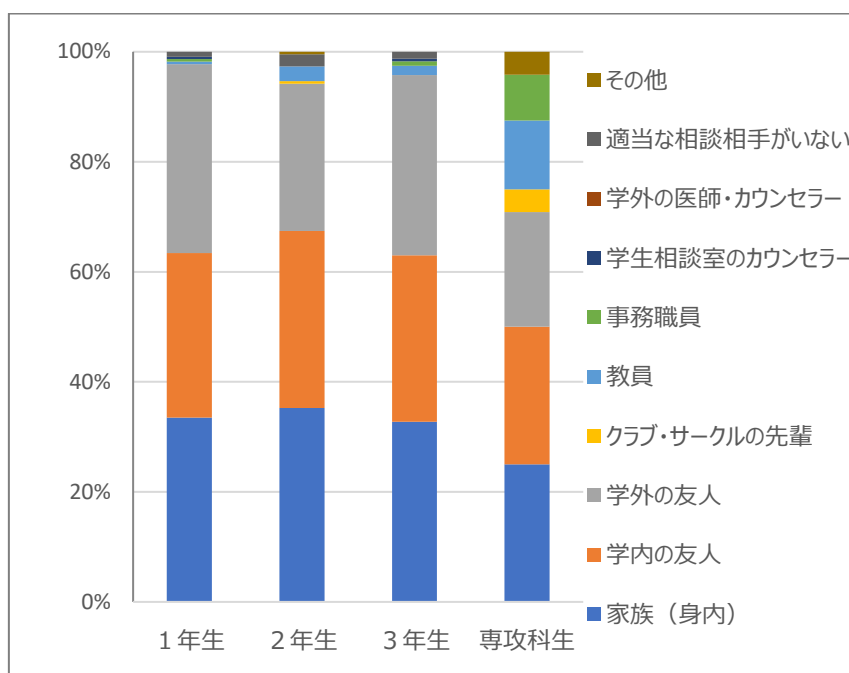
この設問では、誰に悩み事の相談をするかについて回答を求めた。複数回答が可能であり、のべ回答者数は1年生 224、2年生 224、3年生 235、専攻科 24、合計 707 である。図は各学年における総選択肢数に対する割合を示す。

全体としては、相談する相手は、「家族（身内）」、「学内の友人」、「学外の友人」が最も多く、95%を占めている。即ち、相談相手は複数に及んでいる。その他の相談相手は何れも 5%以下で、「学生相談室」に相談する学生は 0.28%で、また、「適当な相談相手がない」学生も 1.41%いる。

前回と比較すると、概ね「家族」と「友人」が相談相手である傾向は変わらないと思われる。また、「教員」、「事務職員」に相談する学生は少なく傾向は変わらない。

学年別にみると、「家族に相談する」学生は、1年生 33.5%、2年生 35.3%、3年生 32.8%、専攻科生 25.0%で、何れの学年も約 3 割を占めている。また「学内の友人」、「学外の友人」もほぼ同程度の割合を示す。一方、「適当な相談相手がない」学生は僅かであるが、1年生 0.9%、2年生 2.2%、3年生 1.3%いる。

悩み事の相談相手



[問 18]誰（どこ）に大学や学習に関する疑問、不満、要望を相談するか選択してください。（複数回答可）

1. 短期大学部事務室窓口
2. 学生相談室
3. 教員
4. 友人
5. 家族等
6. その他
7. どこ（誰）にも話さない
8. 疑問、不満、要望などはない

問 18 表 全学年の選択肢別割合（％）

回答内容	今回	前回
1. 短期大学部事務室	8.6	10.5
2. 学生相談室	0.6	0.6
3. 教員	11.5	14.1
4. 友人	42.9	40.7
5. 家族（身内）	28.2	26.6
6. その他	0.2	0.0
7. 誰（どこ）にも話さない	2.1	2.1
8. 疑問、不満、要望などはない	5.9	5.4
合計	100	100

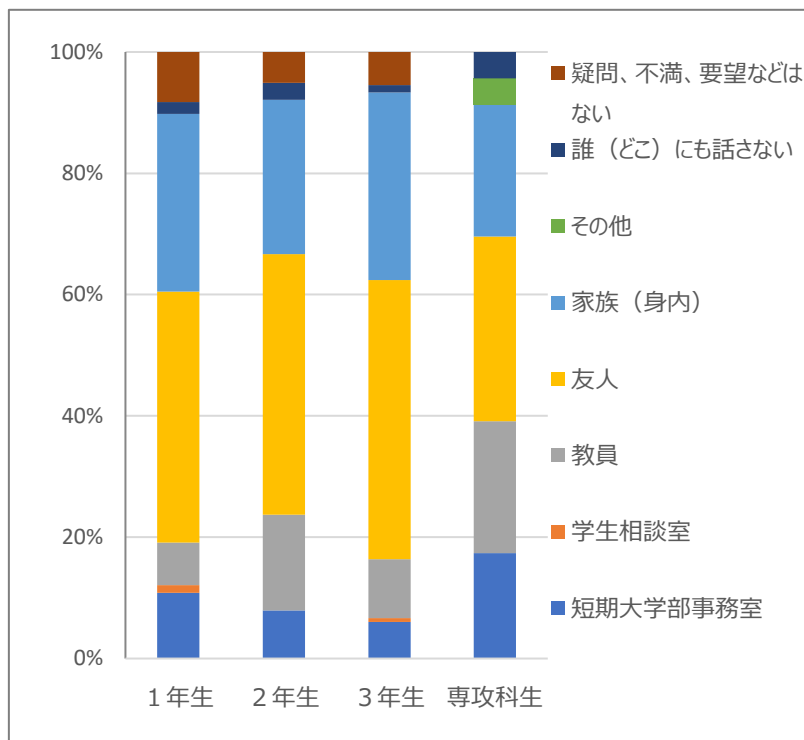
この設問では、大学や学習に関する疑問、不満、要望など（疑問等）をどこ（誰）に相談するかについて回答を求めた。複数回答が可能であり、選択肢数は1年生 157、2年生 177、3年生 165、専攻科生 23、合計 522 である。図は各学年における総選択肢数に対する割合を示す。

全体としては、「疑問等はない」学生は 5.9%であり、ほとんどの学生が大学や学習に対して何らかの疑問等をもっている。疑問等に関して相談する相手で最も多いのは「友人」で 42.9%、次いで「家族（身内）」28.2%、「教員」11.5%、「短期大学部事務室」8.6%の順である。一方、疑問等をもっている「どこ（誰）」にも話さない」学生が 2.1%いる。

前回と比較すると、相談相手では、「友人」、「家族（身内）」が増加し、「短期大学部事務室」、「教員」が減少している。

学年別にみると、「疑問等はない」学生は1年生 8.3%、2年生 5.1%、3年生 5.5%、専攻科生 0.0%であり、ほとんどの学生が大学や学習に対して疑問等をもっている。相談相手として「友人」を選択した学生は、1年生 41.4%、2年生 42.9%、3年生 46.1%、専攻科生 30.4%で、「家族（身内）」は、1年生 29.3%、2年生 25.4%、3年生 30.9%、専攻科生 21.7%で、どの学年も友人と家族（身内）の割合が多い。相談相手に「教員」を選択した学生の割合は、1年生 7.0%、2年生 15.8%、3年生 9.7%、専攻科生 21.7%で、「短期大学部事務室」の割合は、1年生 10.8%、2年生 7.9%、3年生 6.1%、専攻科生 17.4%である。大学や学習に関する疑問等に関する相談相手として、教員や事務室をもっと利用してほしい。一方、疑問等があっても「どこ（誰）」にも話さない」学生は、1年生 1.9%、2年生 2.8%、3年生 1.2%、専攻科生 4.3%であった。

大学・学習に関する疑問の相談相手



[問 19]次の中から短期大学部の教育で要望したいことは何か選択してください。（複数回答可）

1. 専門教育を充実させてほしい
2. 教養教育を充実させてほしい
3. キャリア教育（就職活動）を充実させてほしい
4. 科目選択の幅を増やしてほしい
5. コンピューター教育を充実させてほしい
6. その他
7. 特に要望はない

問 19 表 全学年の選択肢別割合（％）

回答内容	今回	前回
1. 専門教育の充実	14.6	15.5
2. 教養教育の充実	8.2	6.5
3. キャリア教育（就職活動）の充実	11.0	13.1
4. 科目選択の幅	9.2	8.6
5. コンピューター教育の充実	6.4	10.6
6. その他	2.1	1.6
7. 特に要望はない	48.5	44.1
合計	100	100

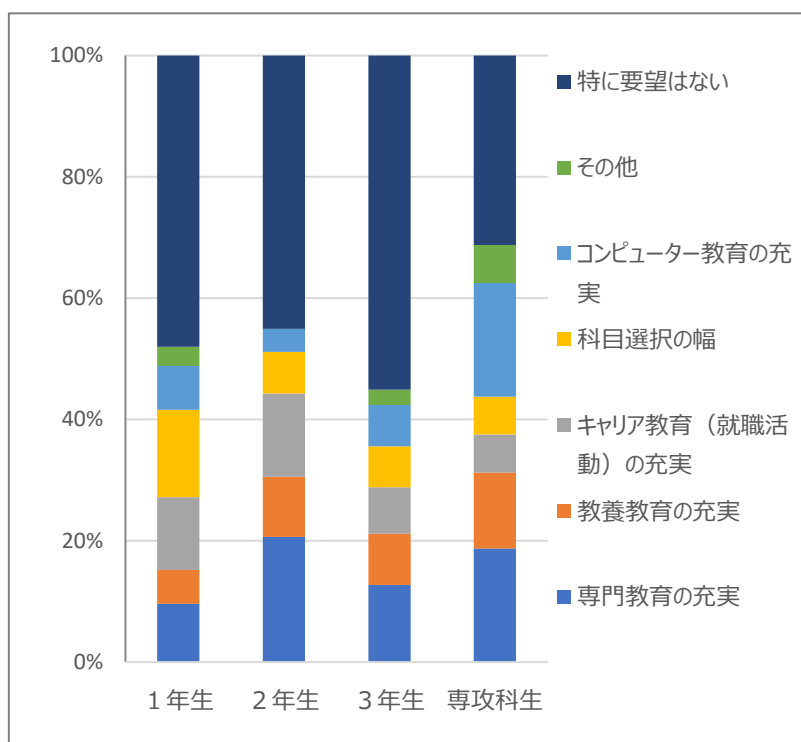
この設問は、本学科の教育で特に要望したいことについて回答を求めた。複数回答が可能であり、のべ回答者数は1年生 125、2年生 131、3年生 118、専攻科生 16、合計 390 である。図は各学年における総回答者数に対する割合を示す。

全体としてみると、「特に要望はない」学生が 5 割弱いる。要望としては「専門教育を充実してほしい」が最も多く、14.6%を占めている。次いで「キャリア教育（就職活動）を充実してほしい」が 11.0%、「科目選択の幅を増やしてほしい」が 9.2%、「コンピューター教育を充実してほしい」が 6.4%と続く。

前回と比較すると「専門教育の充実」、「キャリア教育」、「コンピューター教育」が減少し、「教養教育の充実」、「科目選択の幅」が増加している。

学年別に比較すると、「特に要望はない」学生は、1年生 48.0%、2年生 45.0%、3年生 55.1%、専攻科生 31.3%である。「専門教育を充実してほしい」学生は、1年生 9.6%、2年生 20.6%、3年生 12.7%、専攻科生 18.8%で、2年生と専攻科生に多い。臨床実習中の2年生と歯科衛生士資格をもつ専攻科の学生が専門教育の充実を望むことは当然でもある。

教育についての要望



[問 20] クラブ・サークルの所属について選択してください。

1. 学内の運動部に所属している
2. 学内の文化部に所属している
3. 学内の未公認サークルに所属している
4. 学外のサークルに所属している
5. 所属していない

問 20 表 全学年の選択肢別割合（％）

回答内容	今回	前回
1. 学内の運動部に所属している	4.4	5.4
2. 学内の文化部に所属している	3.2	2.7
3. 学内の未公認サークルに所属している	0.6	0.0
4. 学外のサークルに所属している	1.6	1.6
5. 所属していない	90.2	90.3
合計	100	100

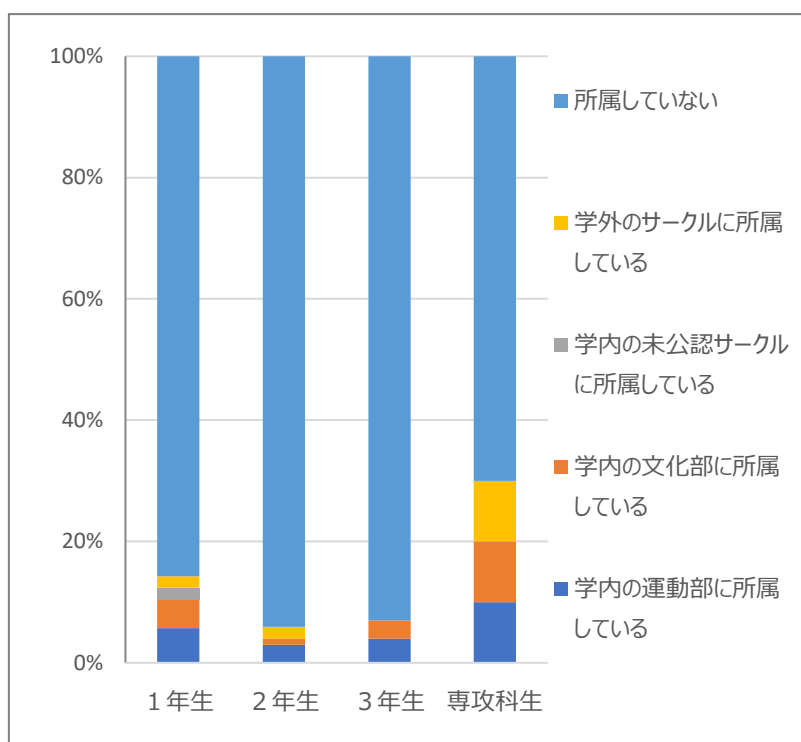
この設問では、いずれかのクラブ・サークルに所属しているかについて回答を求めた。

全体としては、「所属していない」学生が、所属している学生より圧倒的に多く、約 9 割の学生はクラブ・サークルに所属していない。比較的多い「学内運動部」でさえ、4.4％である。

前回と比較すると、「学内文化部」、「学内未公認サークル」の学生が増加した。

学年別にみると、いずれの学年も「所属していない」が圧倒的に多いが、その割合は、1 年生 85.7％、2 年生 94.1％、3 年生 93.0％、専攻科生 70.0％である。大部分の学生がクラブ・サークルに所属していない理由として、2、3 年生は、2021 年度はコロナ禍にあって登校できない期間があったことや、2022 年度は対面授業が始まったが感染の危険性を考慮したことが考えられる。2023 年度入学の 1 年生は、新型コロナウイルス感染症も落ち着いたこともあるのか、2,3 年生に比べてクラブ・サークルに所属しているものが増加した。

クラブ・サークルの所属状況



4. 学外活動

[問 21] アルバイトの経験はありますか。

1. 経験がある
2. 経験がない

問 21 表 全学年の選択肢別割合 (%)

回答内容	今回	前回
1. 経験がある	96.8	97.3
2. 経験がない	3.2	2.7
合計	100	100

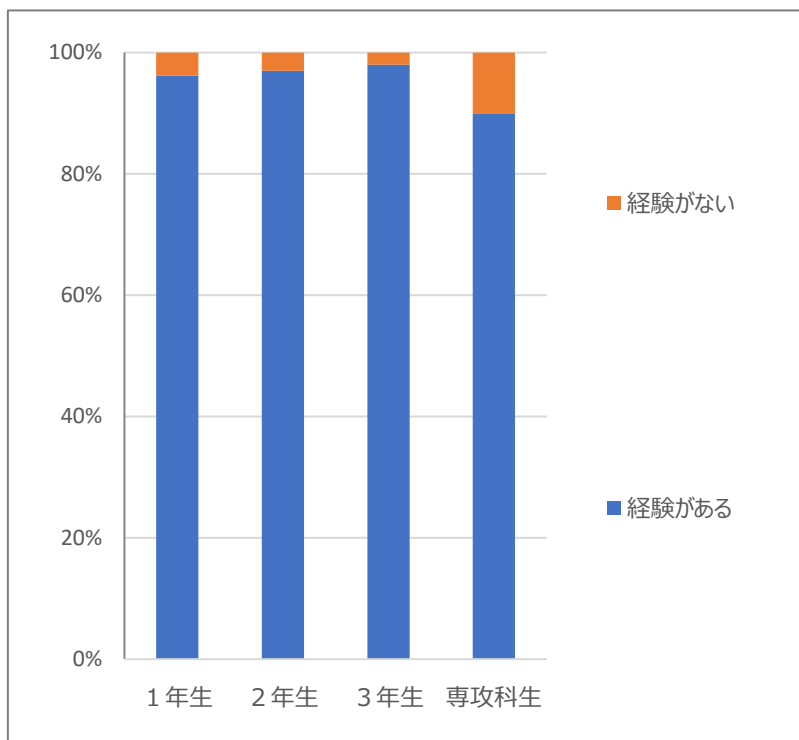
この設問では、アルバイト経験の有無について回答を求めた。

全体としては、アルバイトの「経験がある」学生が 96.8% と圧倒的に多数である。

前回と比較すると、「アルバイト経験がある」学生の割合は極僅か減少している。

学年別にみると、「経験がある」学生は、1 年生 96.2%、2 年生 97.0%、3 年生 98.0%、専攻科生 90.0%
専攻科生でやや少ないが、1～3 年生ではほぼ程度である。

アルバイト経験



[問 22]現在、アルバイトの 1 週間あたりの平均勤務時間を選択してください。

1. 5 時間未満
2. 5 時間以上 10 時間未満
3. 10 時間以上 20 時間未満
4. 20 時間以上 30 時間未満
5. 30 時間以上
6. 現在アルバイトはしていない

問 22 表 全学年の選択肢別割合（％）

回答内容	今回	前回
1. 5 時間未満	14.4	11.7
2. 5 時間以上10時間未満	24.2	28.3
3. 10時間以上20時間未満	45.1	37.8
4. 20時間以上30時間未満	13.1	11.7
5. 30時間以上	0.3	1.1
6. 現在アルバイトはしていない	2.9	9.4
合計	100	100

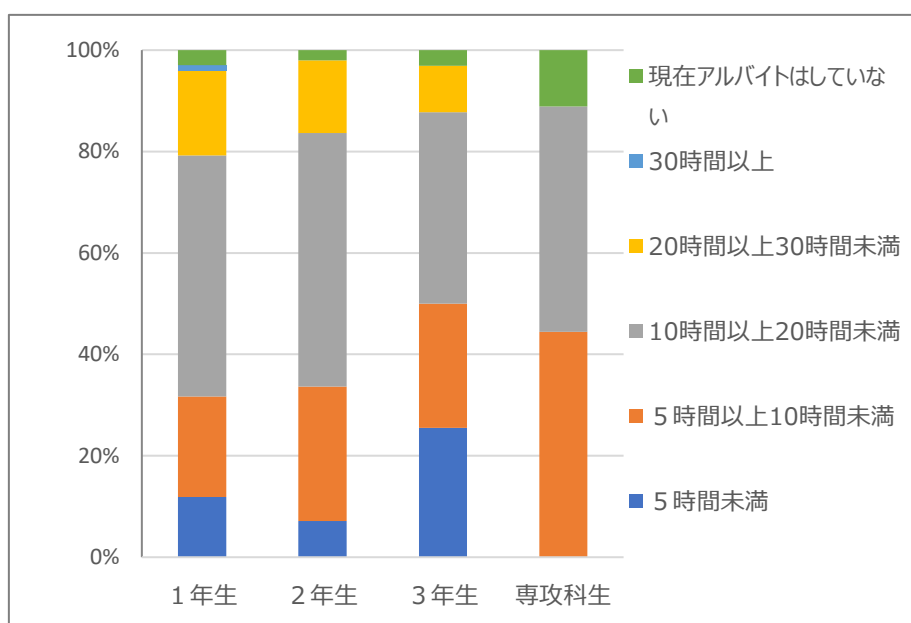
この設問では、1 週間あたりの勤務時間について回答を求めた。

全体としては、週「10 時間以上 20 時間未満」の学生が最も多く、「5 時間以上 10 時間未満」の順である。次いで、「5 時間未満」、「20 時間以上 30 時間未満」、「30 時間以上」であった。また、「現在はしていない」学生も僅かにいる。

前回と比較して、「10 時間以上 20 時間未満」、「5 時間未満」、「20 時間以上 30 時間未満」が増加している。

学年別では、「現在はしていない」は 1～3 年生の各学年とも同程度で、少数であった。

週あたりの平均アルバイト勤務時間



[問 23]月あたりの平均アルバイトの収入を選択してください。

1. 3万円未満
2. 3万円以上5万円未満
3. 5万円以上7万円未満
4. 7万円以上10万円未満
5. 10万円以上

問 23 表 全学年の選択肢別割合（％）

回答内容	今回	前回
1. 3万円未満	10.8	10.4
2. 3万円以上5万円未満	27.9	41.1
3. 5万円以上7万円未満	32.0	30.7
4. 7万円以上10万円未満	25.9	17.2
5. 10万円以上	3.4	0.6
合計	100	100

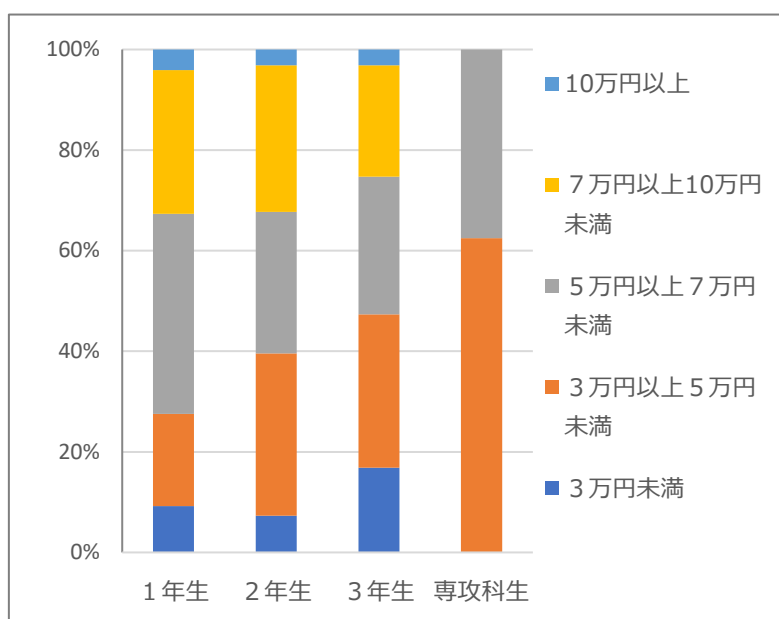
この設問では、1ヶ月あたりのアルバイトの平均収入について回答を求めた。

全体としては、「5万円以上7万円未満」の学生が最も多く全体の約3割、次いで「3万円以上5万円未満」、「7万円以上10万円未満」で、ここまでで全体の約8割以上を占めた。また、「10万円以上」も少数いた。

前回と比べ、アルバイトの月収は高額となる傾向を示している。

学年別にみると、「5万円以上7万円未満」の学生は1年生39.8%、2年生28.1%、3年生27.4%、専攻科生37.5%で、1年生に多い。また、「3万円以上5万円未満」の学生は1年生18.4%、2年生32.3%、3年生30.5%、専攻科生62.5%と専攻科生に多く、「7万円以上10万円未満」の学生は1年生28.6%、2年生29.2%、3年生22.1%、専攻科生0.0%で、1、2年生に多かった。

アルバイトの平均月収



[問 24]次の中からアルバイトの職種を選択してください。(複数回答可)

1. 歯科医院
2. 飲食・フード
3. 販売・接客・サービス
4. 教育
5. レジャー・エンタメ
6. 営業・事務
7. 物流・配送
8. IT・コンピューター
9. その他

問 24 表 全学年の選択肢別割合 (%)

回答内容	今回	前回
1. 歯科医院	17.5	20.1
2. 飲食関係	53.0	45.4
3. 販売・接客・サービス関係	24.1	27.5
4. 教育関係	1.8	2.6
5. レジャー・エンタメ・娯楽関係	2.0	2.6
6. 営業・事務関係	0.8	0.4
7. 物流・配送関係	0.3	0.0
8. IT・コンピューター関係	0.0	0.0
9. その他	0.5	1.3
合計	100	100

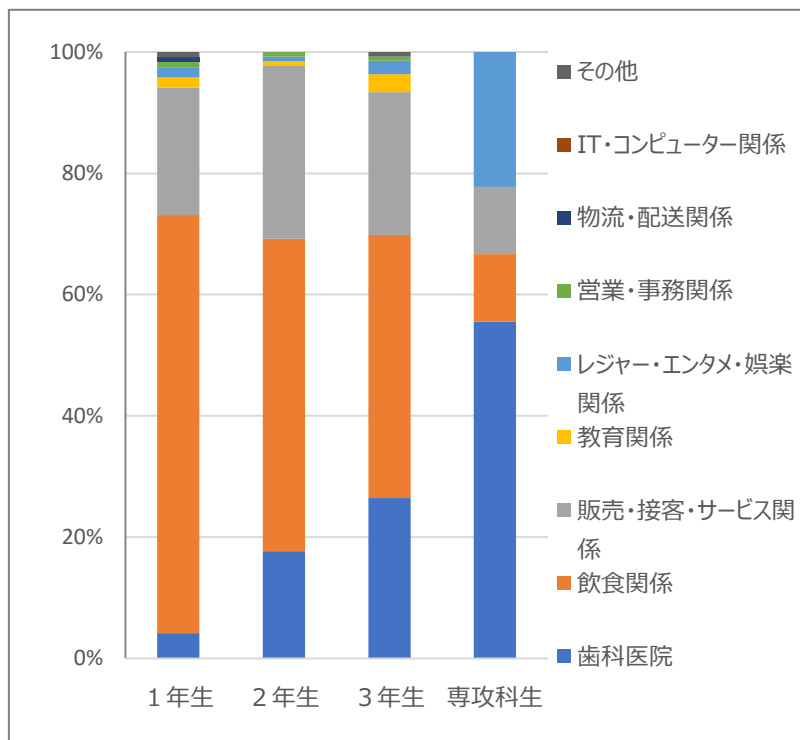
この設問では、アルバイトの職種について回答を求めた。複数回答が可能であり、のべ回答者数は1年生 119、2年生 130、3年生 136、専攻科 9 の合計 394 である。図は各学年における総回答者数に対する割合を示す。

全体としては、「飲食関係」の学生が最も多く、次いで、「販売・接客・サービス関係」、「歯科医院」の順である。他の職種はいずれも 2% 以下である。

前回と比較しても、傾向は殆ど変わらない。

学年別にみると、いずれの学年も「飲食関係」の学生が最も多く、その割合は1年生 68.9%、2年生 51.5%、3年生 43.4%、専攻科 11.1%で1年生が多い。それに対して、「歯科医院」でアルバイトをする学生は、1年生 4.2%、2年生 17.7%、3年生 26.5%、専攻科 55.6%で、1年生が少なく、学年が上がるに従って増加している。

アルバイトの職種



[問 25]次の中からアルバイト収入の用途を選択してください。(複数回答可)

1. 学費（授業料等）
2. 勉学費（教科書、書籍、文具等）
3. 通学交通費（定期代）、免許取得費、自動車・バイク等購入維持費
4. クラブ・サークル活動費
5. 生活費（食住費）
6. 趣味、被服、娯楽
7. 貯金
8. その他

問 25 表 全学年の選択肢別割合（％）

回答内容	今回	前回
1. 学費（授業料等）	2.6	2.7
2. 勉学費（教科書、書籍、文具等）	5.9	4.7
3. 通学交通費（定期代）、免許取得費、自動車・バイク等購入維持費	5.7	7.1
4. クラブ・サークル活動費	1.3	1.1
5. 生活費（食住費）	9.6	11.2
6. 趣味、被服、娯楽費	46.6	43.6
7. 貯金	28.3	29.6
8. その他	0.0	0.0
合計	100	100

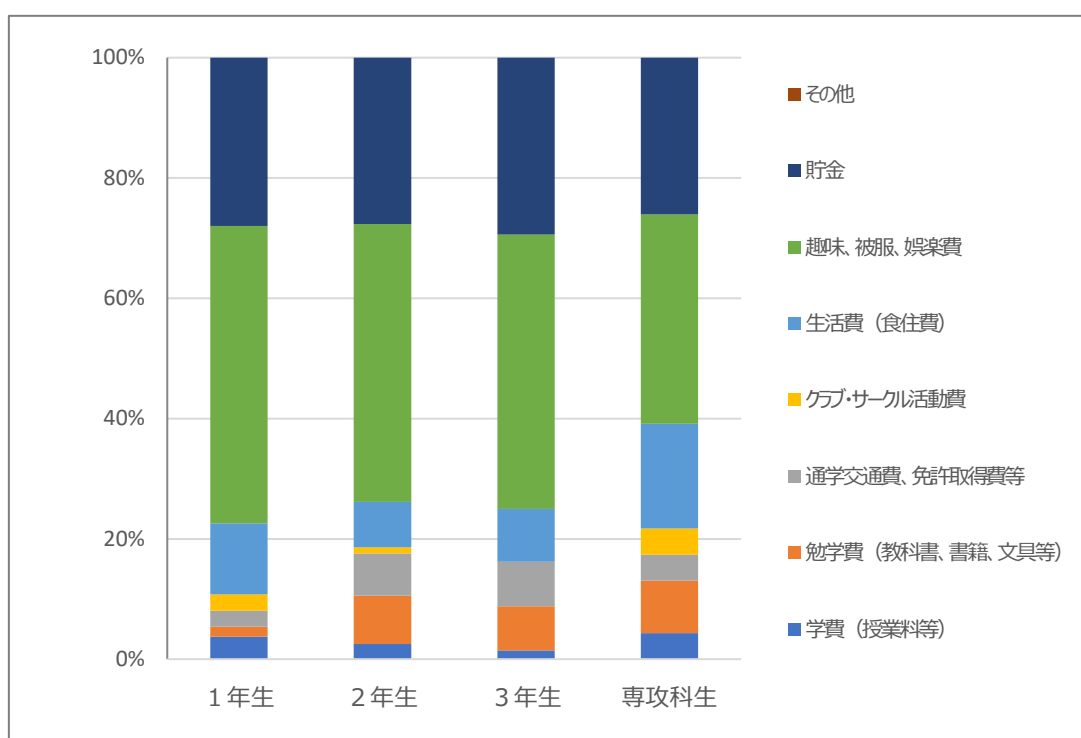
この設問では、アルバイト収入の主な使いみちについて回答を求めた。複数回答が可能であり、総回答数は1年生 186、2年生 199、3年生 204、専攻科 23、合計 612 である。図は各学年における総回答者数に対する割合を示す。

全体としては、「趣味、被服、娯楽費」に使う学生が圧倒的に多く、次いで、「貯金」、「生活費（食住費）」、「勉学費」、「通学交通費等」の順である。また、「学費」に使う学生も、少数いる。

前回と同様に、「趣味、被服、娯楽費」に相当する使途が圧倒的に多い。一方、「勉学費」、「クラブ・サークル活動費」に使う学生は増加している。

学年別にみると、「趣味、被服、娯楽費」への使途が1年生 49.5%、2年生 46.2%、3年生 45.6%、専攻科生 34.8%で、1年生で最も高い。「貯金」は、1年生 28.0%、2年生 27.6%、3年生 29.4%、専攻科 26.1%で、各学年ともほぼ同じであった。

アルバイト収入の使途



[問 26]次の中から授業終了後の行動について選択してください。(複数回答可)

1. まっすぐ家に帰る
2. 友人と遊ぶ
3. 学内で勉強する
4. クラブ・サークル活動をする
5. 教室、学食、マグネットラウンジ等で過ごす
6. アルバイトに行く
7. 学外の各種学校に行く(資格取得等)
8. その他

問 26 表 全学年の選択肢別割合 (%)

回答内容	今回	前回
1. まっすぐ家に帰る	37.9	38.9
2. 友人と遊ぶ	24.8	25.8
3. 学内で勉強する	0.0	0.0
4. クラブ・サークル活動をする	2.2	1.9
5. 教室、学食、マグネットラウンジ等で過ごす	3.6	3.1
6. アルバイトに行く	29.5	28.6
7. 学外の各種学校に行く(資格取得等)	0.3	0.2
8. その他	1.7	1.4
合計	100	100

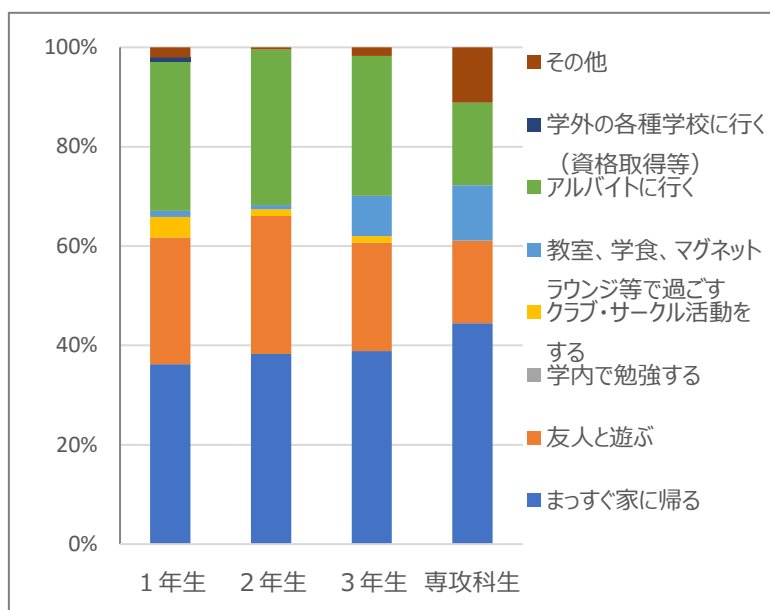
この設問では、授業終了後はどのように過ごしているかについて回答を求めた。複数回答が可能であり、総回答数は1年生 243、2年生 230、3年生 234、専攻科 18、合計 725 である。図は各学年における総回答者数に対する割合を示す。

全体としては、「まっすぐ家に帰る」が最も多く、次いで「アルバイトに行く」、「友人と遊ぶ」の順である。また、学内の「教室、学食、マグネットラウンジ等で過ごす」学生もいる。まっすぐ帰る日もあれば、アルバイトに行く日や友人と遊ぶ日、学内で過ごしてから帰る日もあるということである。

前回と比較すると、「まっすぐ家に帰る」、「友人と遊ぶ」、「学内で勉強する」以外の項目が増加している。「学内で勉強する」学生は、前回同様いなかった。

学年別にみると、「まっすぐ家に帰る」学生は1年生で 36.2%、2年生で 38.3%、3年生 38.9%、専攻科生で 44.4%と専攻科生に多く、1～3年生ではほぼ同程度であった。一方、「アルバイトに行く」学生は1年生で 30.0%、2年生で 31.3%、3年生 28.2%、専攻科 16.7%と、専攻科生を除くと、学年による違いはあまり認められなかった。「友人と遊ぶ」学生は、2年生でやや多かった。

授業終了後の行動



5. 進路・満足度

[問 27]卒業後の進路について選択してください。

1. 歯科衛生士として就職
2. 歯科衛生士以外の職業に就職
3. 進学
4. 海外留学する
5. まだわからない
6. その他

問 27 表 全学年の選択肢別割合 (%)

回答内容	今回	前回
1. 歯科衛生士として就職	86.7	86.5
2. 歯科衛生士以外の職業に就職	0.3	0.5
3. 進学	2.8	4.3
4. 海外留学	0.6	0.0
5. まだわからない	9.2	8.6
6. その他	0.3	0.0
合計	100	100

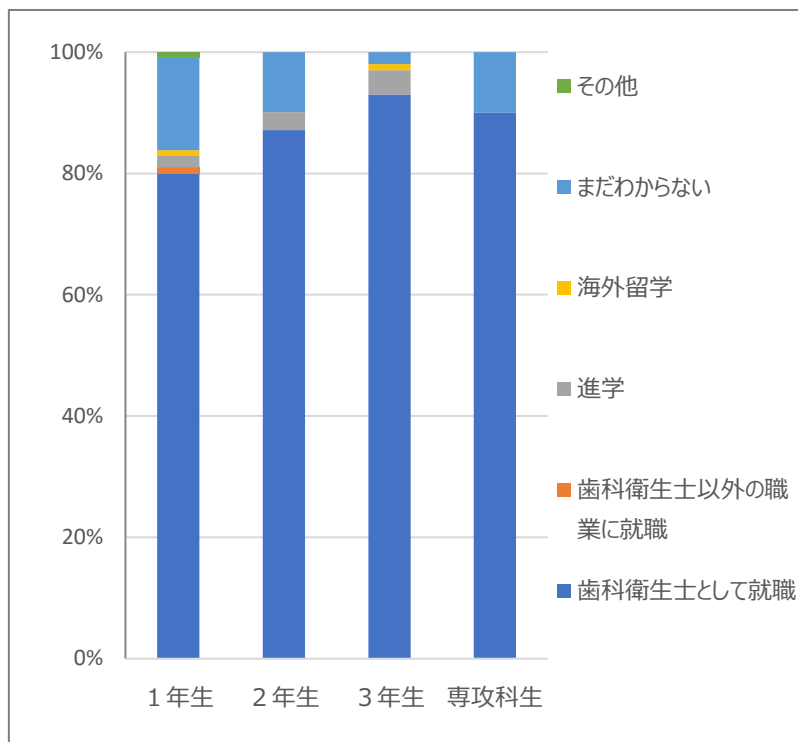
この設問では、卒業後の進路予定について回答を求めた。

全体としては、「歯科衛生士として就職」と解答した学生が 86.7%と最も多い。次いで「まだわからない」学生が 9.2%である。

前回と比較すると、大多数は「歯科衛生士として就職」で同じであるが、続いて「まだわからない」、「進学」の順となり、同様の結果である。

学年別に比較すると、いずれの学年も「歯科衛生士として就職」の学生が圧倒的に多いが、その割合は 1 年生 80.0%、2 年生 87.1%、3 年生 93.0%、専攻科生 90.0%で学年が上がるに従って増加している。「進学」は 1 年生 1.9%、2 年生 3.0%、3 年生 4.0%と 3 年生の割合が高い。一方、「まだわからない」は 1 年生 15.2%、2 年生 9.9%、3 年生 2.0%で、3 年生になると、進路が明確になってくるようである。

卒業後の進路



[問 28] 学生生活の充実度について選択してください。

1. 充実している
2. 充実していない
3. どちらも言えない

問 28 表 全学年の選択肢別割合（％）

回答内容	今回	前回
1. 充実している	73.4	78.4
2. 充実していない	4.7	2.2
3. どちらも言えない	21.8	19.5
合計	100	100

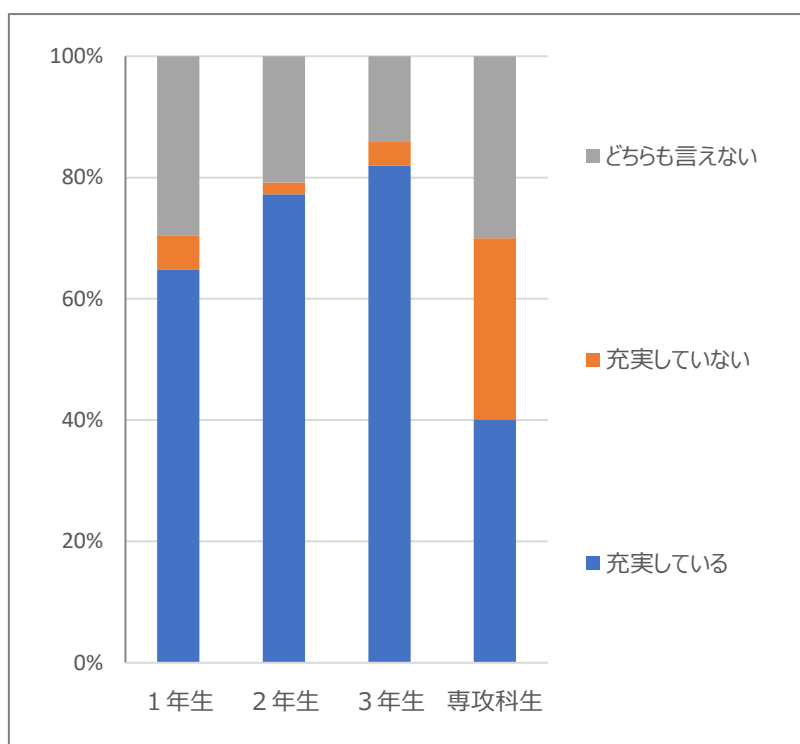
この設問では、学生生活の充実度について回答を求めた。

全体としては、「充実している」と答えた学生が 73.4%と約 8 割で、「充実していない」と答えた 4.7%を大きく上回っている。

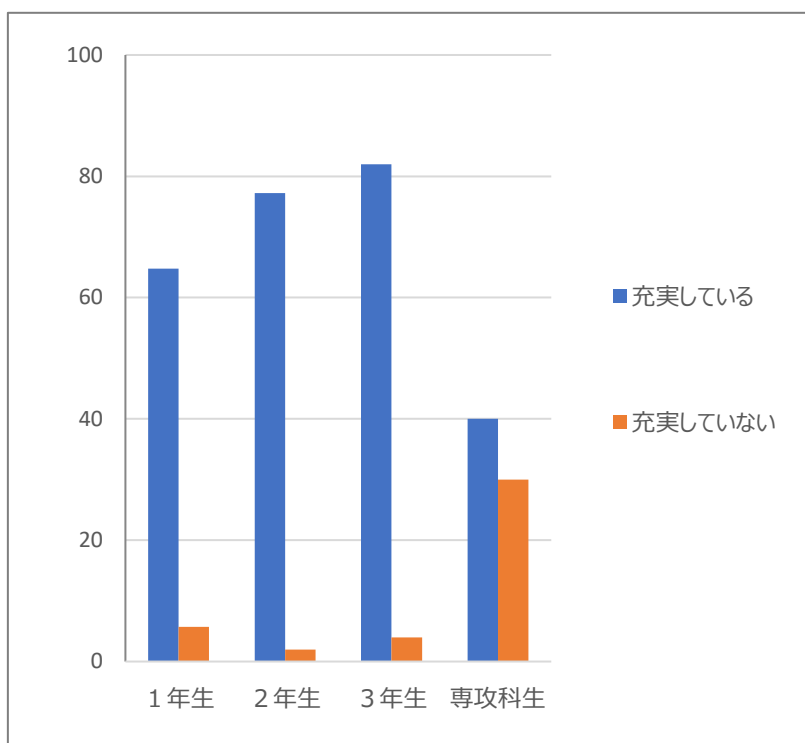
前回と比較すると、「充実している」が減少し、「充実していない」、「わからない」が増加している。特に 1 年生と専攻科生で充実度が下がっている。

学年別に見ると、「充実している」学生は、1 年生 64.8%、2 年生 77.2%、3 年生 82.0%、専攻科生 40.1%で、学年が上がるに従い増加しているが、専攻科生では低い満足度を示している。逆に、「充実していない」学生は、1 年生 5.7%、2 年生 2.0%、3 年生 4.0%、専攻科生では 30.0%で、専攻科生の満足度が他の学年に比べて大幅に低い。

学生生活の充実度



充実度の比較（％）



[問 29]学科の内容全体に関する満足度について選択してください。

1. 満足している
2. ほぼ満足している
3. 特に不満はない
4. 少し不満がある
5. 不満だ

問 29 表 全学年の選択肢別割合（％）

回答内容	今回	前回
1. 満足している	32.3	37.8
2. ほぼ満足している	34.5	31.9
3. 特に不満はない	24.4	26.5
4. 少し不満がある	7.3	3.8
5. 不満	1.6	0.0
合計	100	100

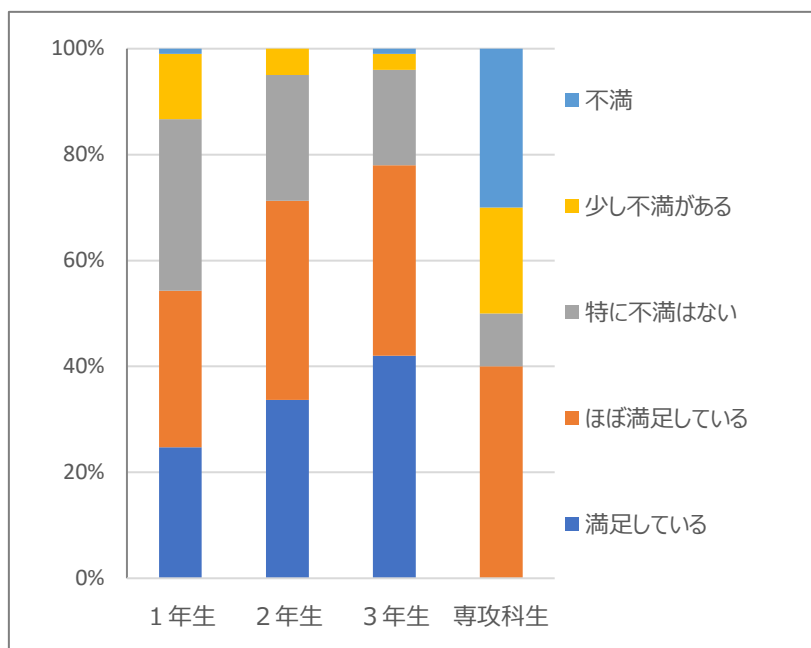
この設問では、学科の内容全体の満足度について回答を求めた。

全体としては、「ほぼ満足している」学生が最も多く、次いで、「満足している」、「特に不満はない」、「少し不満がある」の順であり、「不満」も極わずかではあるがあった。

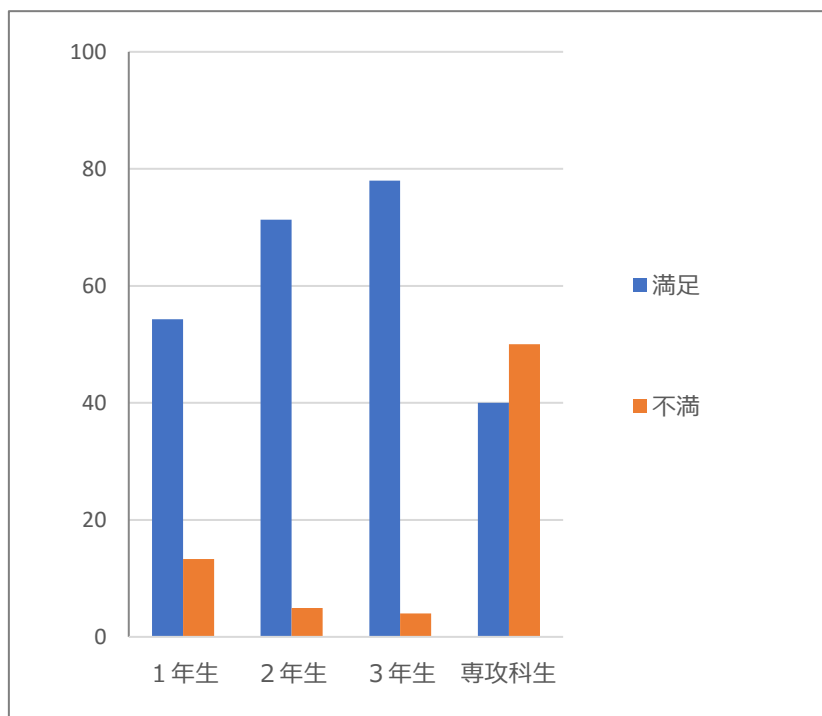
前回と比較すると、「満足」が減少し、「満足」と「ほぼ満足」を合計すると 66.8%となり、満足度は下がっている。

学年別に見ると、「満足している」と「ほぼ満足している」を加えた「満足」が、1年生で54.3%、2年生で71.3%、3年生で78.0%、専攻科生で40.0%であり、1年生と専攻科生の満足度が低くなっていた。特に、専攻科生の満足度は低く、満足より不満の方が上回っていた。

学科の内容全体の満足度



満足度の比較 (%)



[問 30]開講されている科目の種類や内容に関する満足度について選択してください。

1. 満足している
2. ほぼ満足している
3. 特に不満はない
4. 少し不満がある
5. 不満だ

問 30 表 全学年の選択肢別割合（％）

回答内容	今回	前回
1. 満足している	31.6	40.5
2. ほぼ満足している	34.2	28.6
3. 特に不満はない	27.2	27.6
4. 少し不満がある	5.1	3.2
5. 不満	1.9	0.0
合計	100	100

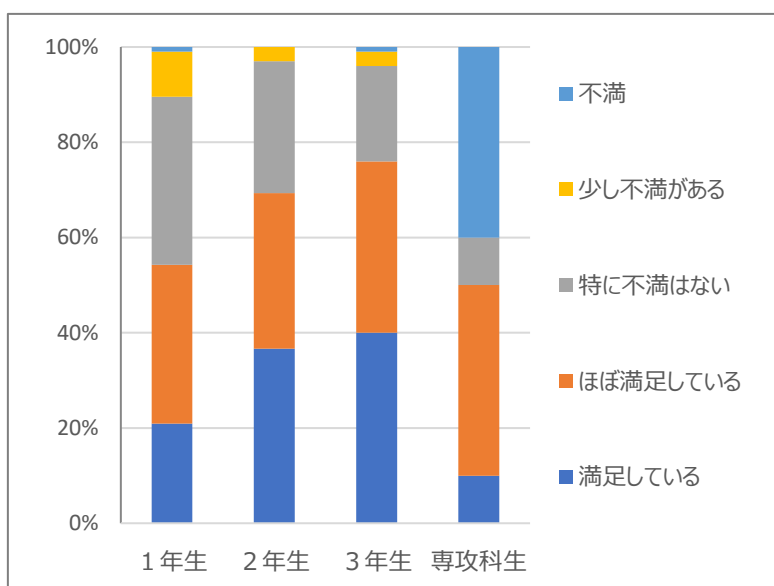
この設問では、開講されている科目の種類や内容の満足度について回答を求めた。

全体としては、「満足している」、「ほぼ満足している」、「特に不満はない」学生がそれぞれ約 3 割で、「少し不満がある」が僅かにあるに過ぎない。

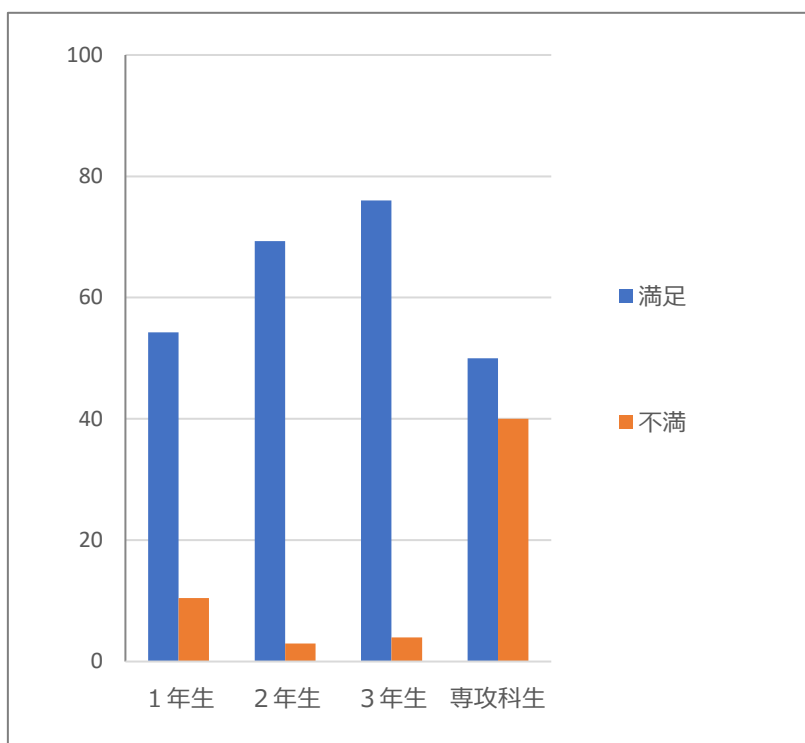
前回と比較すると、「満足している」が約 10%減少し、その分「ほぼ満足」の学生が増加している。

学年別にみると、「満足している」学生の割合は 1 年生 21.0%，2 年生 36.6%，3 年生 40.0%，専攻科生 10.0%と 1 年生と専攻科生の割合が低い。「ほぼ満足」の割合は 1 年生 33.3%，2 年生 32.7%，3 年生 36.0%，専攻科生 40.0%で、専攻科生で最も高かったが、1～3 年生の間ではほとんど差はなかった。「満足している」と「ほぼ満足」を加えた「満足」は、1 年生 54.3%，2 年生 69.3%，3 年生 76.0%，専攻科 50.0%で、3 年生で高い。一方、「少し不満がある」と「不満」を加えた「不満」の割合は、1 年生 10.5%，2 年生 3.0%，3 年生では 4.0%，専攻科生 40.0%で、専攻科生で高い。

科目の種類・内容についての満足度



満足度の比較 (%)



[問 31]時間割編成に関する満足度について選択してください。

1. 満足している
2. ほぼ満足している
3. 特に不満はない
4. 少し不満がある
5. 不満だ

問 31 表 全学年選択肢別割合(%)

回答内容	今回	前回
1. 満足している	27.2	29.2
2. ほぼ満足している	23.7	23.2
3. 特に不満はない	25.9	29.7
4. 少し不満がある	15.2	15.1
5. 不満	7.9	2.7
合計	100	100

この設問では、時間割編成の満足度について回答を求めた。

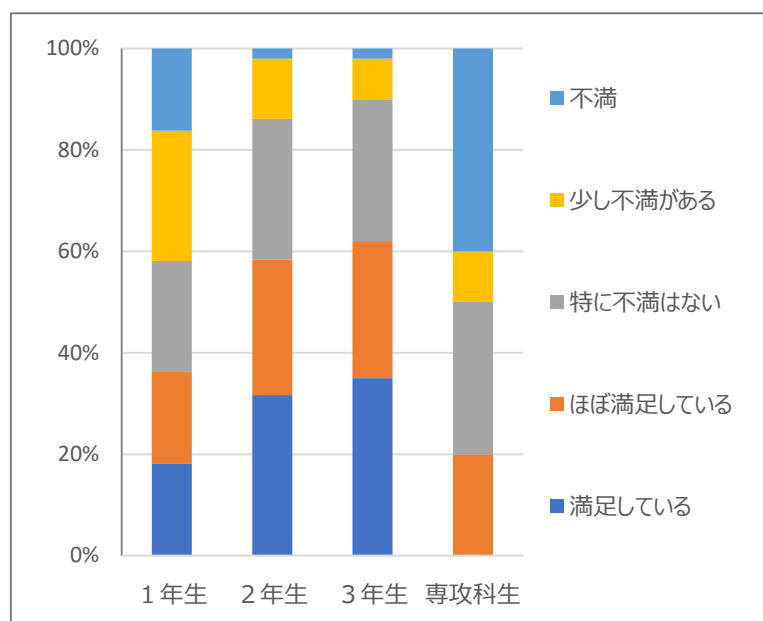
全体としては、「満足している」学生が最も多く、次いで、「特に不満はない」、「ほぼ満足している」、「少し不満がある」の順であり、「不満だ」は最も少ない。「満足」と「ほぼ満足」を加えた「満足」の割合は50.9%で、「少し不満」と「不満」を加えた「不満」の23.1%より明らかに多い。

前回と比較すると、前は「特に不満はない」が最も多かったが、今回は「満足している」学生が最も多

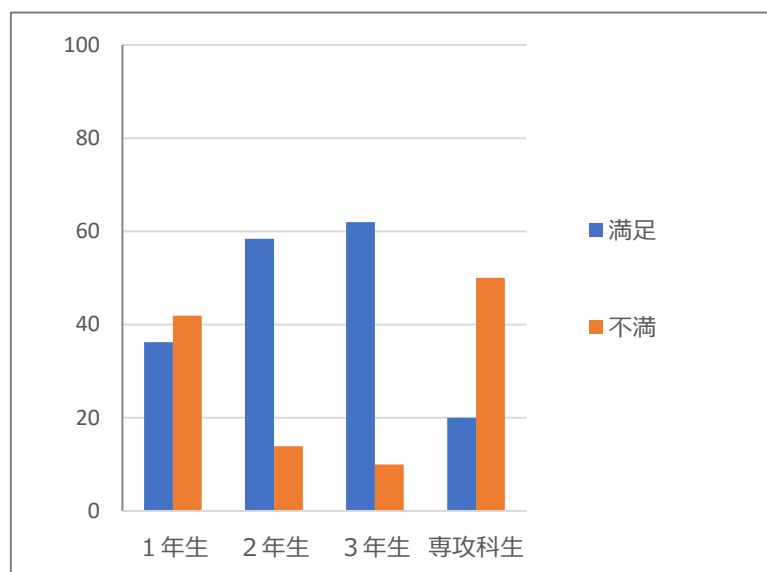
くなった。「満足」と「ほぼ満足」を加えた「満足」の割合はやや下がったが殆ど変わらないが、「少し不満」と「不満」を加えた「不満」の割合は増加している。

学年別に見ると、「満足している」学生の割合は、1年生 18.1%、2年生 31.7%、3年生 35.0%、専攻科生 0.0%、「ほぼ満足している」割合は、1年生 18.1%、2年生 26.7%、3年生 27.0%、専攻科生 20.0%である。それぞれを加えた「満足」の割合は1年生 36.2%、2年生 58.4%、3年生 62.0%、専攻科生 20.0%で、満足度は専攻科生と1年生で低い。一方、「少し不満がある」と「不満だ」を加えた「不満」の割合は1年生 41.9%と多く、2年生 13.9%、3年生 10.0%で少ないが、専攻科生 50.0%で多い。

時間割編成についての満足度



満足度の比較 (%)



[問 32]講義・実習の内容や方法に関する満足度について選択してください。

1. 満足している
2. ほぼ満足している
3. 特に不満はない
4. 少し不満がある
5. 不満だ

問 32 表 全学年の選択肢別割合（％）

回答内容	今回	前回
1. 満足している	32.3	36.2
2. ほぼ満足している	30.1	25.9
3. 特に不満はない	27.5	31.4
4. 少し不満がある	8.2	5.9
5. 不満	1.9	0.5
合計	100	100

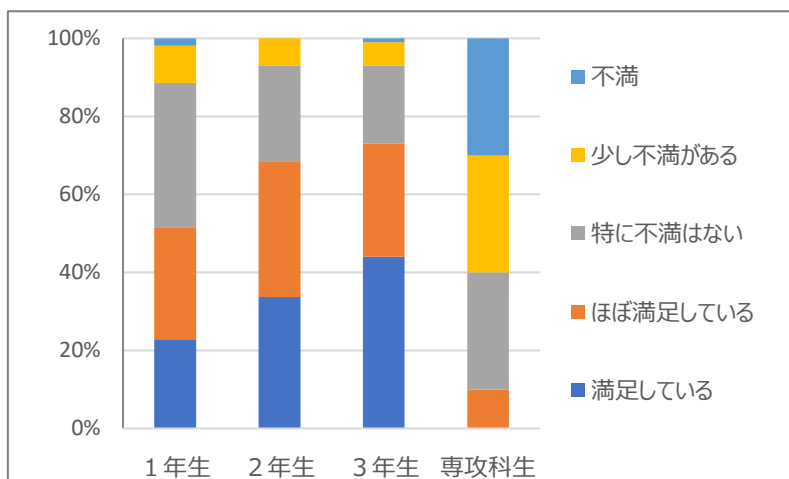
この設問では、講義・実習の内容や方法に関する満足度について回答を求めた。

全体としては、「満足している」学生が最も多く、次いで「ほぼ満足している」、「特に不満はない」、「少し不満がある」の順であり、「不満だ」は最も少ない。「満足している」と「ほぼ満足している」を加えた「満足」の割合は 62.4%で、「少し不満がある」と「不満だ」を加えた不満の割合 10.1%より遙かに多い。

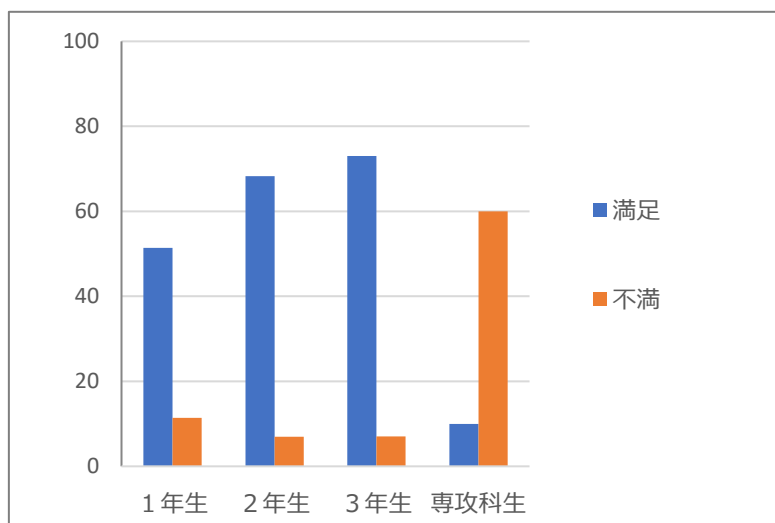
前回と比較すると、「満足」と「特に不満はない」が減少し、「ほぼ満足」、「少し不満」、「不満」が増加している。

学年別に見ると、「満足している」学生の割合は 1 年生 22.9%、2 年生 33.7%、3 年生 44.0%、専攻科生 0.0%、「ほぼ満足している」の割合は、1 年生 28.6%、2 年生 34.7%、3 年生 29.0%、専攻科生 10.0%である。「満足している」と「ほぼ満足している」を加えた「満足」の割合は、1 年生 51.4%、2 年生 68.3%、3 年生 73.0%、専攻科生 10.0%で、専攻科生の満足度はかなり低い。一方、「少し不満がある」と「不満だ」を加えた「不満」の割合は、1 年生 11.4%、2 年生 6.9%、3 年生 7.0%、専攻科生 60.0%で、専攻科生で極端に高い。

講義についての満足度



満足度の比較 (%)



[問 33]教育施設・設備（教室・実習室・図書館情報センター等）に関する満足度について選択してください。

1. 満足している
2. ほぼ満足している
3. 特に不満はない
4. 少し不満がある
5. 不満だ

問 33 表 全学年の選択肢別割合 (%)

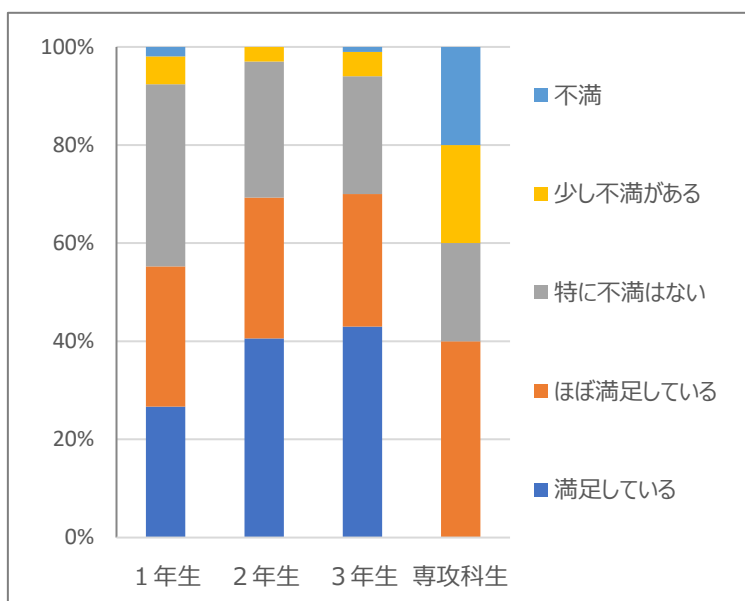
回答内容	今回	前回
1. 満足している	35.4	41.1
2. ほぼ満足している	28.5	22.2
3. 特に不満はない	29.4	34.6
4. 少し不満がある	5.1	2.2
5. 不満	1.6	0.0
合計	100	100

この設問では、教育施設・設備（教室・実習室・図書館情報センター等）の満足度について回答を求めた。

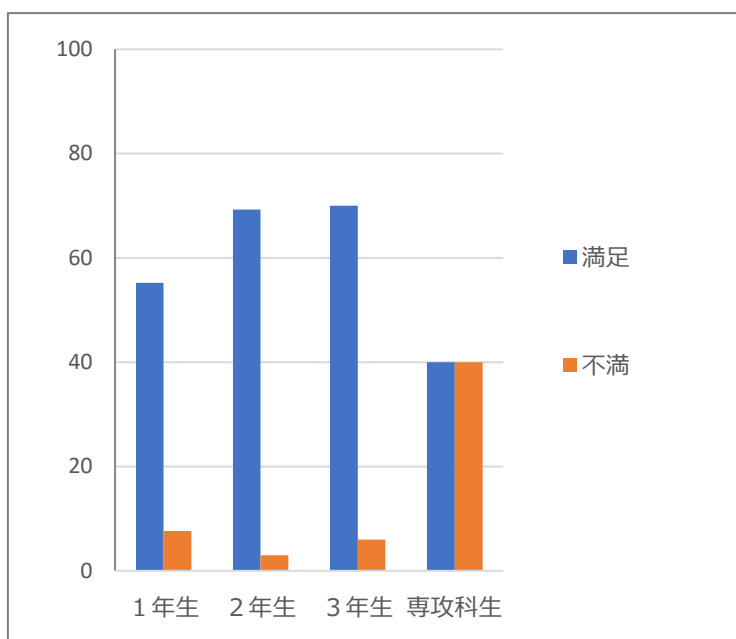
全体としては、「満足」と回答した学生が最も多く、次いで、「特に不満はない」、「ほぼ満足」、「少し不満」の順であり、「不満」と回答したものは少なかった。「満足」と「ほぼ満足」を加えた「満足」している学生の割合 63.9%は、「少し不満」と「不満」を加えた「不満」6.7%より圧倒的に多い。

学年別に見ると、「満足している」と「ほぼ満足している」を加えた「満足」の割合は1年生 55.2%、2年生 69.3%、3年生 70.0%、専攻科生 40.0%である。一方、「少し不満がある」と「不満だ」を加えた「不満」の割合は1年生 7.6%、2年生 3.0%、3年生 6.0%、専攻科 40.0%であり、1年生から3年生では「満足」が「不満」を大きく上回っているが、専攻科生では同じであった。

教育施設・設備に対する満足度



満足度の比較 (%)



[問 34]課外活動施設（グラウンド、体育館等）に関する満足度について選択してください。

1. 満足している
2. ほぼ満足している
3. 特に不満はない
4. 少し不満がある
5. 不満だ

問 34 表 全学年の選択肢別割合（％）

回答内容	今回	前回
1. 満足している	32.0	31.4
2. ほぼ満足している	22.2	15.7
3. 特に不満はない	42.1	47.6
4. 少し不満がある	2.2	4.9
5. 不満	1.6	0.5
合計	100	100

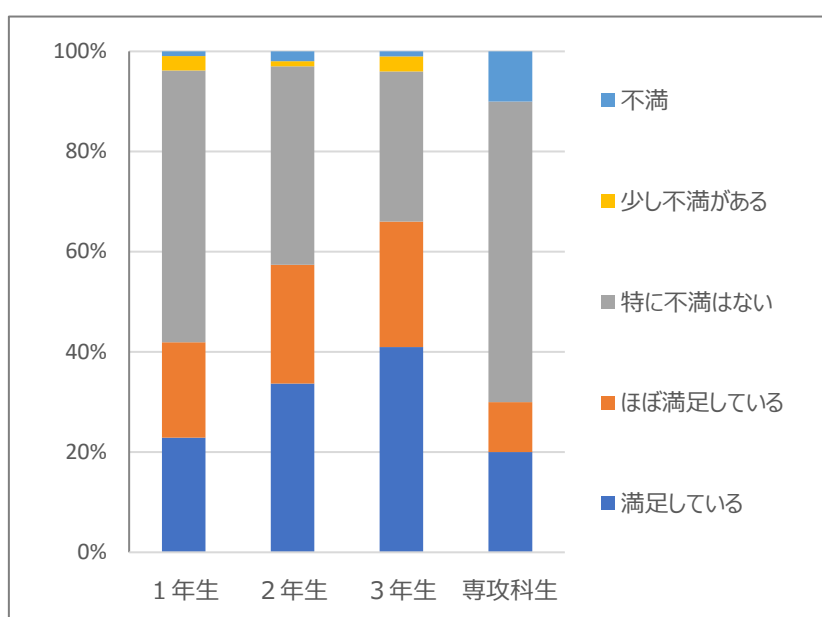
この設問では、課外活動施設（グラウンド・体育館等）の満足度について回答を求めた。

全体としては、「特に不満はない」と回答した学生が 42.1%を占めている。「満足」と「ほぼ満足」を加えた「満足」が 54.2%に対し、「不満」と「少し不満」を加えた「不満」は 3.8%と少ない。

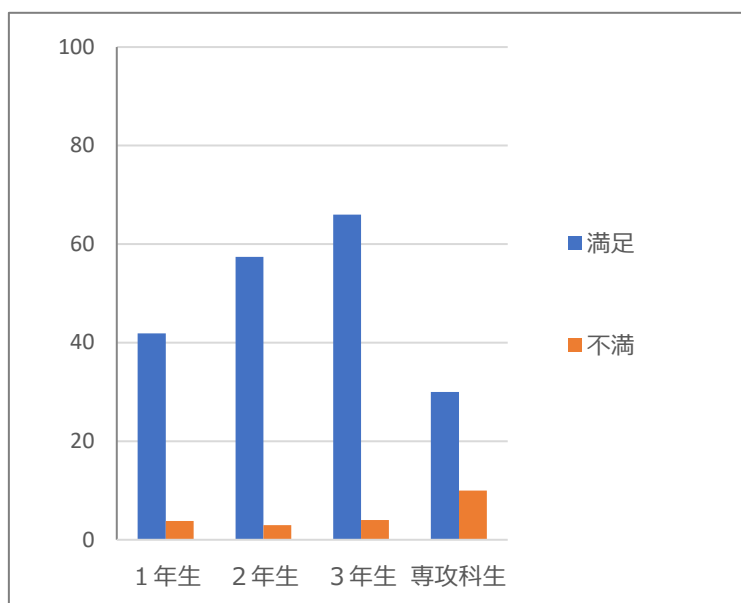
前回と比較すると、「満足している」、「ほぼ満足している」、「不満」が増加している。

学年別に比較すると、「満足している」と「ほぼ満足している」を加えた「満足」の割合は 1 年生 41.9%、2 年生 57.4%、3 年生 66.0%、専攻科生 30.0%で専攻科がやや低い。一方、「少し不満がある」と「不満」を加えた「不満」の割合は 1 年生 3.8%、2 年生 3.0%、3 年生 4.0%、専攻科生 10.0%と、専攻科生でやや高い。

課外活動施設に対する満足度



満足度の比較（％）



[問 35]学内福利厚生施設（歯学部附属病院受診、保健室、食堂、売店等）に関する満足度について選択してください。

1. 満足している
2. ほぼ満足している
3. 特に不満はない
4. 少し不満がある
5. 不満だ

問 35 表 全学年の選択肢別割合（％）

回答内容	今回	前回
1. 満足している	27.2	30.8
2. ほぼ満足している	23.4	22.7
3. 特に不満はない	37.0	34.1
4. 少し不満がある	9.8	10.8
5. 不満	2.5	1.6
合計	100	100

この設問では、学外福利厚生施設（歯学部附属病院受診、保健室、食堂、売店等）の満足度について回答を求めた。

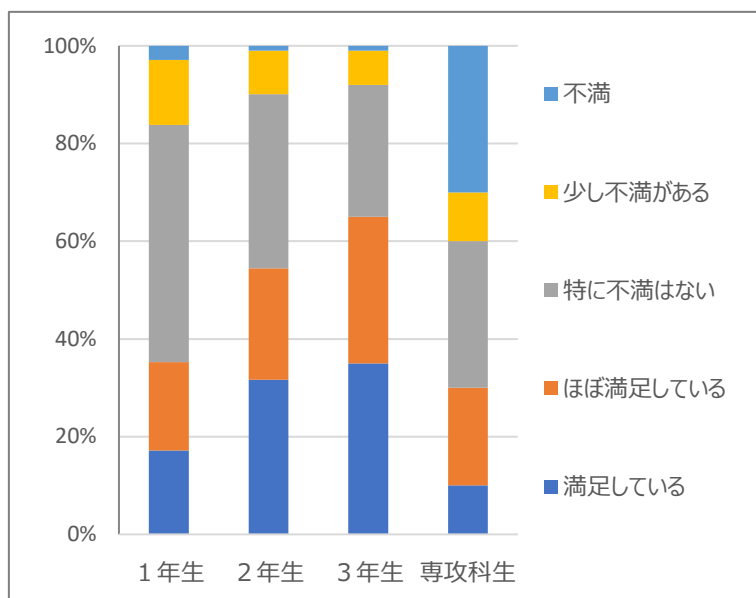
全体としては、「特に不満はない」が最も多く、次に「満足」と「ほぼ満足」で、「少し不満」と「不満」が続く。

前回と比較すると、「ほぼ満足している」、「特に不満はない」、「不満」が増え、「満足」と「少し不満」が減少している。

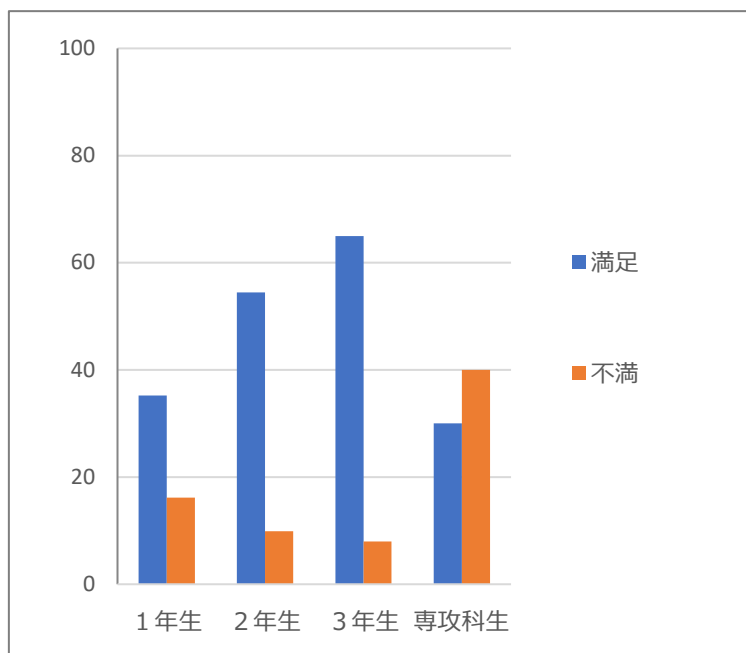
学年別に比較すると、「満足している」と「ほぼ満足している」を加えた「満足」の割合は、1年生 35.2％、

2年生 54.5%，3年生 65.0%，専攻科生 30.0%で，2，3年生は概ね満足であるのに対し，1年生と専攻科生では満足度が低い．一方，「少し不満がある」と「不満だ」を加えた「不満」の割合は，1年生 16.2%，2年生 9.9%，3年生 8.0%，専攻科 40.0%で，専攻科生が極端に高い．

学内福利厚生施設に対する満足度



満足度の比較 (%)



[問 36]文化活動（楠元祭、公開講演会等）に関する満足度について選択してください。

1. 満足している
2. ほぼ満足している
3. 特に不満はない
4. 少し不満がある
5. 不満だ

問 36 表 全学年の選択肢別割合（％）

回答内容	今回	前回
1. 満足している	21.2	19.5
2. ほぼ満足している	15.8	15.1
3. 特に不満はない	50.9	54.1
4. 少し不満がある	7.9	5.4
5. 不満	4.1	5.9
合計	100	100

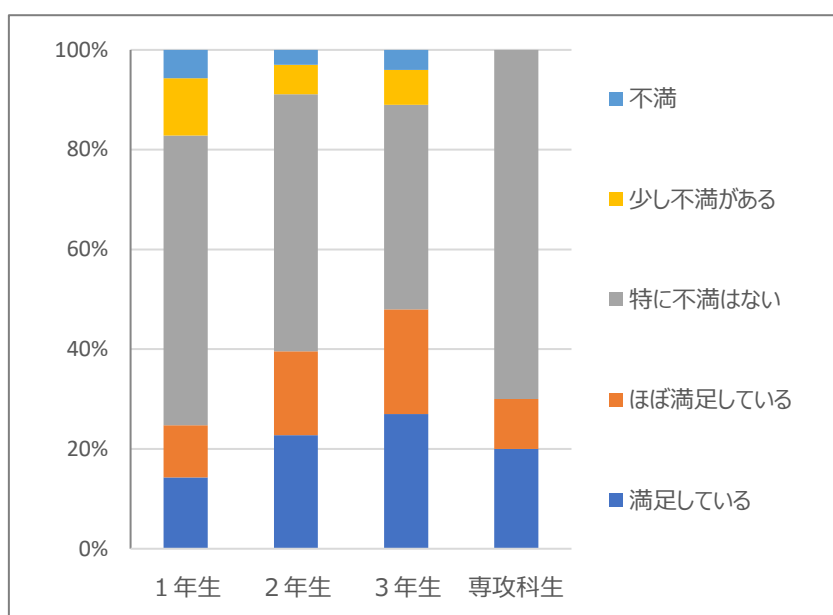
この設問では、文化活動（楠元祭、公開講演会等）の満足度について回答を求めた。

全体としては、「特に不満はない」と答えた学生が 50.9%を占めている。次いで「満足」、「ほぼ満足」が続く。

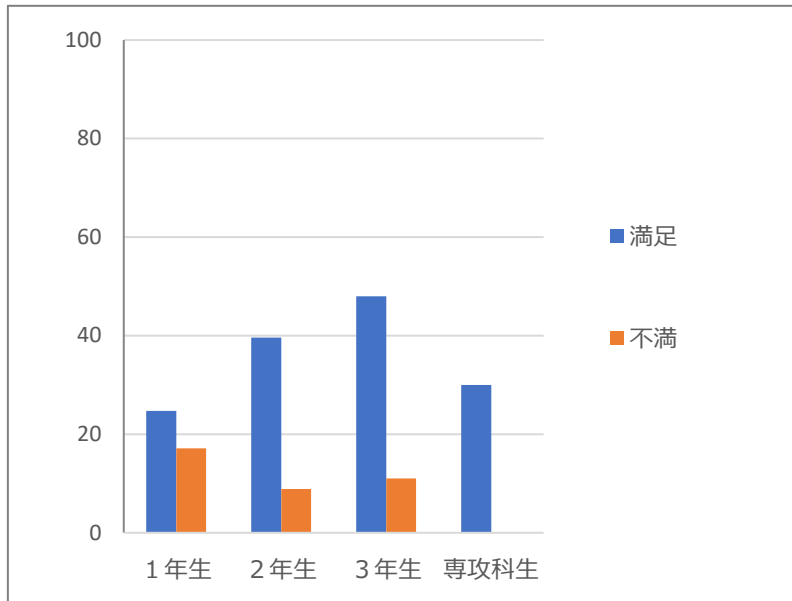
前回は「特に不満はない」が圧倒的に多く、2 年連続で「特に不満はない」と答えた学生が過半数を占める。

学年別に見ると、「満足している」と「ほぼ満足している」を加えた「満足」の割合は 1 年生 24.8%、2 年生 39.6%、3 年生 48.0%、専攻科生 30.0%である。一方、「少し不満がある」と「不満だ」を加えた「不満」の割合は 1 年生 17.1%、2 年生 8.9%、3 年生 11.0%で、1 年生に多い。また、専攻科では「不満」は 0.0%であり、文化活動への無関心さが現れているのかも知れないと思われる。

文化活動に対する満足度



満足度の比較（％）



[問 37]就職対策（キャリア対策）に関する満足度について選択してください。

1. 満足している
2. ほぼ満足している
3. 特に不満はない
4. 少し不満がある
5. 不満だ

問 37 表 全学年の選択肢別割合（％） ※3年生と専攻科のみが対象

回答内容	今回	前回
1. 満足している	32.7	29.2
2. ほぼ満足している	33.6	15.0
3. 特に不満はない	27.3	53.3
4. 少し不満がある	2.7	1.7
5. 不満	3.6	0.8
合計	100	100

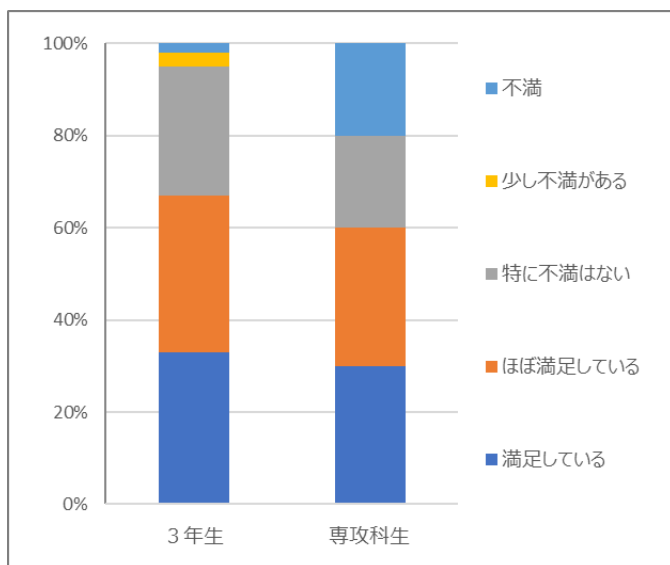
この設問では、就職対策の満足度について3年生と専攻科生に回答を求めた。

全体としては、「満足」と「ほぼ満足」と回答した学生が6割以上で、次に「特に不満はない」に続き、「少し不満」と「不満」は少ない。

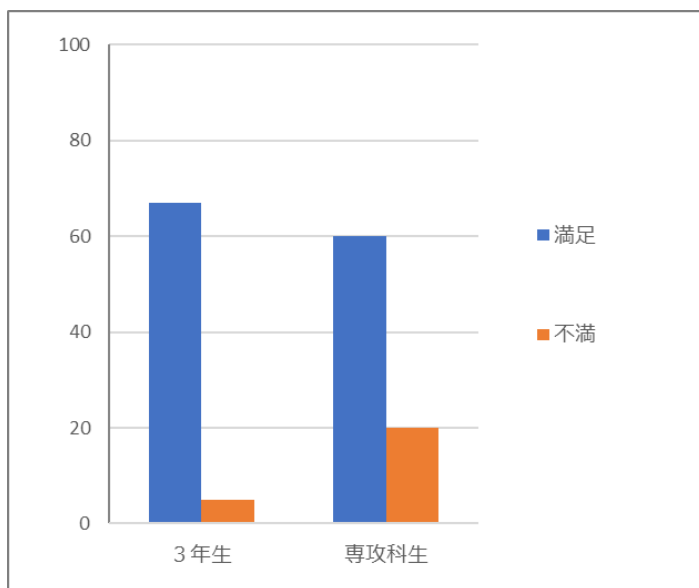
前回と比較すると、3年生の「満足」が増加した一方で、専攻科生の「不満」が増加している。

学年別に見ると、「満足している」と「ほぼ満足している」を加えた「満足」の割合は3年生 67.0％、専攻科生 60.0％で、「少し不満がある」と「不満だ」を加えた「不満」の割合は3年生 5.0％、専攻科生 20.0％であった。満足度は3年生も専攻科生も同程度であったが、不満度については3年生に比べて専攻科生で高かった。

就職対策に対する満足度



満足度の比較 (%)



[問 38]奨学金制度に関する満足度について選択してください。

1. 満足している
2. ほぼ満足している
3. 特に不満はない
4. 少し不満がある
5. 不満だ

問 38 表 全学年の選択肢別割合（％）

回答内容	今回	前回
1. 満足している	25.6	29.2
2. ほぼ満足している	17.7	12.4
3. 特に不満はない	52.2	57.8
4. 少し不満がある	1.9	0.5
5. 不満	2.5	0.0
合計	100	100

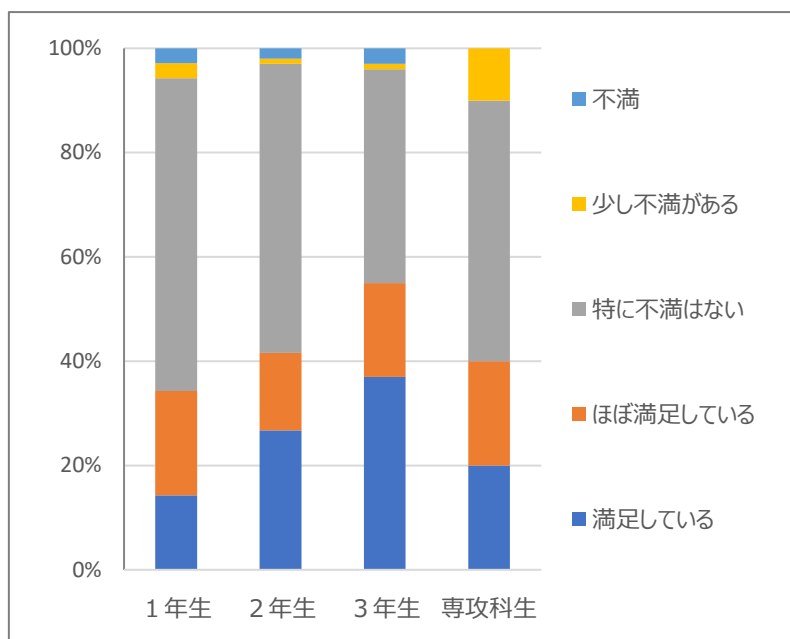
この設問では、奨学金制度の満足度について回答を求めた。

全体としては、「特に不満はない」が約 5 割いる。次いで、「満足」、「ほぼ満足」が続き、「少し不満」、「不満」は少ない。

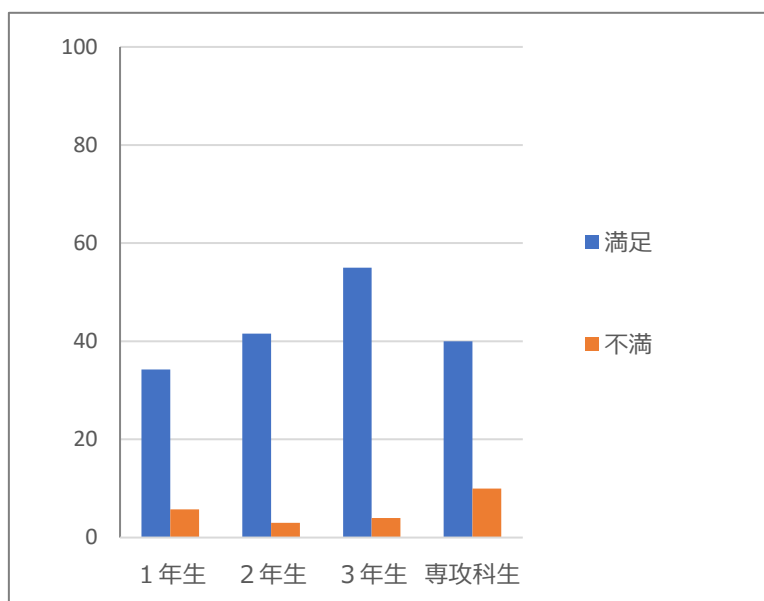
前回と比較しても、傾向は殆ど変わっていない

学年別に見ると、いずれの学年も「満足している」と「ほぼ満足している」を加えた「満足」の割合は、1 年生 34.3％、2 年生 41.6％、3 年生 55.0％、専攻科生 40.0％で、1 年生でやや低かった。一方、「少し不満がある」と「不満だ」を加えた「不満」の割合は、1 年生 5.7％、2 年生 3.0％、3 年生 4.0％、専攻科生 10.0％で、学年間で大きな違いは認められなかった。

奨学金に対する満足度



満足度の比較（％）



[問 39]短期大学部事務室の窓口対応・サービスに関する満足度について選択してください。

1. 満足している
2. ほぼ満足している
3. 特に不満はない
4. 少し不満がある
5. 不満だ

問 39 表 全学年の選択肢別割合（％）

回答内容	今回	前回
1. 満足している	28.2	29.7
2. ほぼ満足している	20.9	20.5
3. 特に不満はない	44.9	44.9
4. 少し不満がある	4.1	4.9
5. 不満	1.9	0.0
合計	100	100

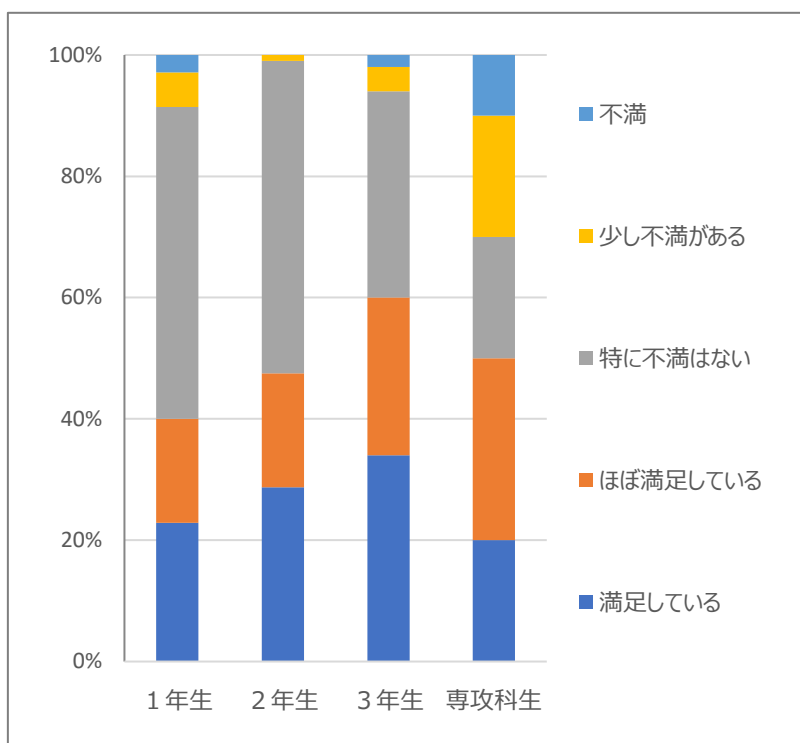
この設問では、事務サービスの満足度について回答を求めた。

全体としては、約半数の学生が「特に不満はない」と回答した。次いで、「満足」、「ほぼ満足」、「少し不満」、「不満」と続いた。

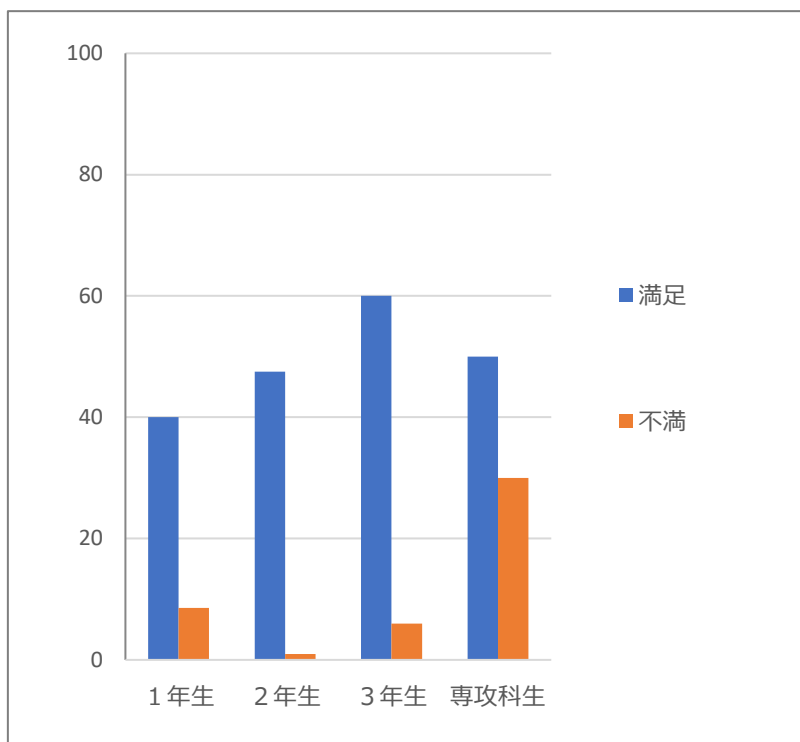
前回と比較すると、前回は「不満」な学生の割合は 0.0%であったが、今回は僅かながら存在した。

学年別に見ると、「満足している」と「ほぼ満足している」を加えた「満足」の割合は 1 年生 40.0%、2 年生 47.5%、3 年生 60.0%、専攻科生 50.0%で、1 年生が低い。一方、「少し不満がある」と「不満だ」を加えた「不満」の割合は、1 年生 8.6%、2 年生 1.0%、3 年生 6.0%、専攻科生 30.0%で、特に専攻科生で高いのが際だっている。

窓口サービスに対する満足度



満足度の比較 (%)



[問 40]個人で情報発信しているメディアについて利用しているものを選択してください。
(複数回答可)

1. 交流系 SNS (Facebook、X(旧 : Twitter)、mixi、LinkedIn、Google+ 等)
2. メッセージ系 SNS (LINE、Viber、WhatsApp、Wechat 等)
3. 画像系 SNS (Instagram、Snow 等)
4. 動画共有サイト (YouTube、TikTok、ニコニコ動画等)
5. ブログ (アメーバブログ、Seesaa ブログ等)
6. ホームページ
7. その他
8. どれも利用していない

問 40 表 全学年の選択肢別割合 (%)

回答内容	今回	前回
1. 交流系 SNS (Facebook、X(旧Twitter)、mixi、LinkedIn、Google+ 等)	20.5	21.3
2. メッセージ系 SNS (LINE、Viber、WhatsApp、Wechat等)	30.7	31.8
3. 画像系 SNS (Instagram、Snow等)	30.2	31.6
4. 動画共有サイト (Youtube、TikTok、ニコニコ動画等)	14.4	12.9
5. ブログ (アメーバブログ、Seesaaブログ等)	0.2	0.0
6. ホームページ	0.9	0.8
7. その他	0.0	0.2
8. どれも利用していない	3.1	1.4
合計	100	100

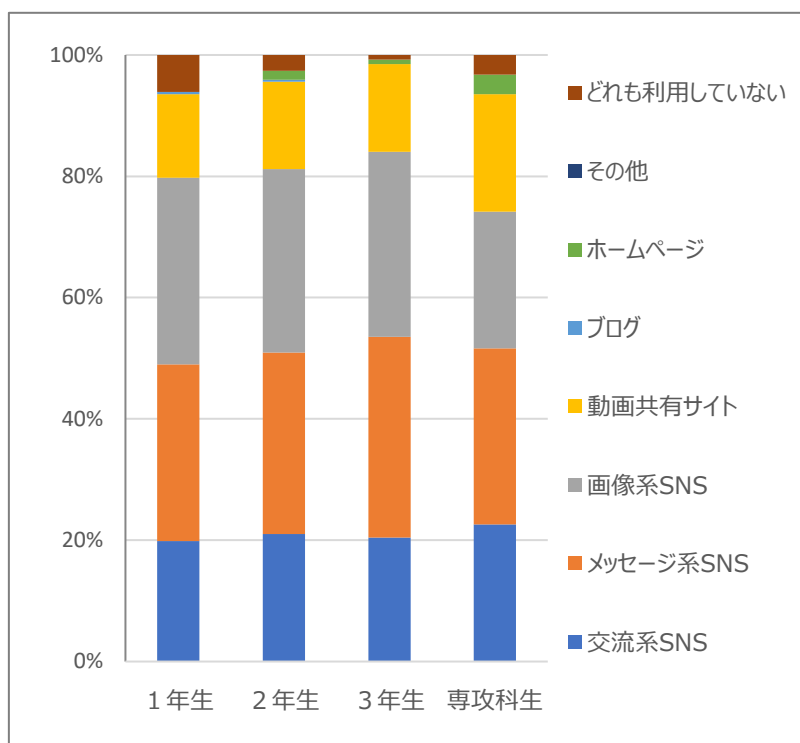
この設問では、個人で情報発信しているメディアについて回答を求めた。複数回答を可としているため、回答総数は 818 で、内訳は 1 年生 247、2 年生 271、3 年生 269、専攻科 31 であった。図は各学年における総回答者数に対する割合を示す。

全体的には、「メッセージ系」と「画像系」の利用が高い。次いで「交流系」、「動画共有サイト」と続く。また「どれも利用していない」もいる。

前回と比較しても傾向はほとんど変わっていない。

学年別の利用用途は、「交流系」が 1 年生 19.8%、2 年生 21.0%、3 年生 20.4%、専攻科生 22.6%、「メッセージ系」が 1 年生 29.1%、2 年生 29.9%、3 年生 33.1%、専攻科生 29.0%、「画像系」が 1 年生 30.8%、2 年生 30.2%、3 年生 30.5%、専攻科生 22.6%である。「交流系」、「メッセージ系」、「画像系」ではどの学年も同程度の利用状況であった。

個人発信メディアの利用用途



[問 41] タバコを吸いますか。(複数回答可)

1. 吸わない
2. 紙巻きタバコを吸う
3. 加熱式タバコを吸う
4. 電子タバコを吸う
5. 水タバコを吸う
6. 無煙タバコを吸う
7. 以前は吸っていたが、やめた

問 41 表 全学年の選択肢別割合 (%)

回答内容	今回	前回
1. 吸わない	96.2	98.4
2. 紙巻きタバコを吸う	0.6	0.0
3. 加熱式タバコを吸う	0.6	0.0
4. 電子タバコを吸う	0.9	0.0
5. 水タバコを吸う	0.0	0.0
6. 無煙タバコを吸う	0.0	0.0
7. 以前は吸っていたが、やめた	1.6	1.6
合計	100	100

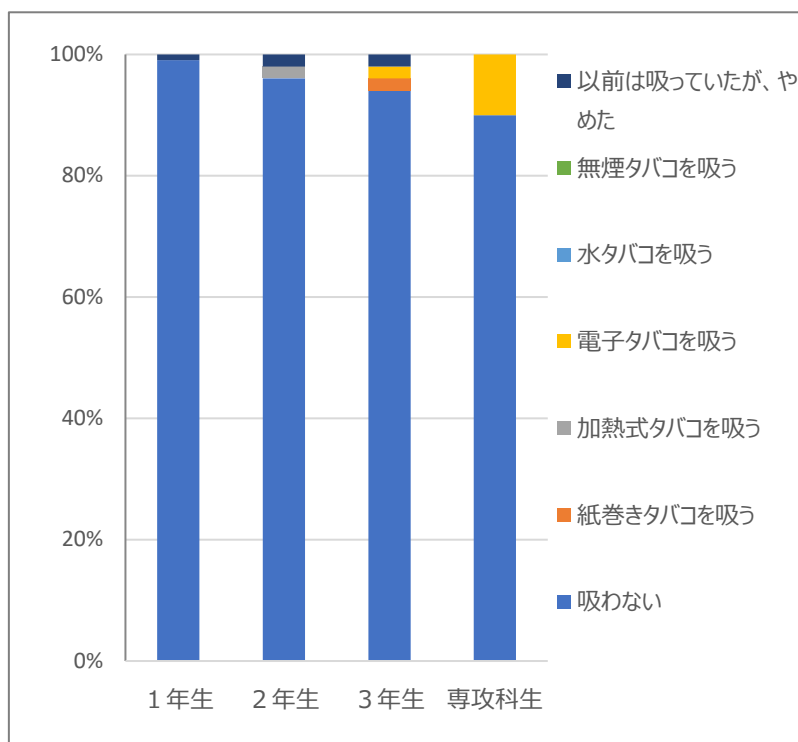
この設問は、たばこを吸う習慣について回答を求めた。

全体として、「吸わない」学生が 96.2%と圧倒的に多いが、「以前は吸っていたが、やめた」学生が 1.6%いた。また、現在も「紙巻きタバコ」、「加熱式タバコ」、「電子タバコ」を吸っている学生が存在していた。

前回の調査では、「やめた」学生がわずかにいた程度であったが、今回の調査ではタバコを吸う学生がいることがわかった。

学年別では、「やめた」学生が、1 年生 1.0%、2 年生 2.0%、3 年生 2.0%いた。また、現在も何らかのタバコを吸っている学生は、1 年生 0.0%、2 年生 2.0%、3 年生 4.0%、専攻科生 10.0%であった。

タバコを吸う習慣



[問 42]楠元キャンパスを敷地内禁煙にすべきだと思いますか。※建物内だけでなく通路やグラウンド等キャンパス内すべて禁煙

1. 敷地内禁煙にすべき
2. 喫煙場所での喫煙（分煙）を徹底すればよい

問 42 表 全学年の選択肢別割合（%）

回答内容	今回	前回
1. 敷地内禁煙にすべき	63.0	58.4
2. 喫煙場所での喫煙（分煙）を徹底すればよい	37.0	41.6
合計	100	100

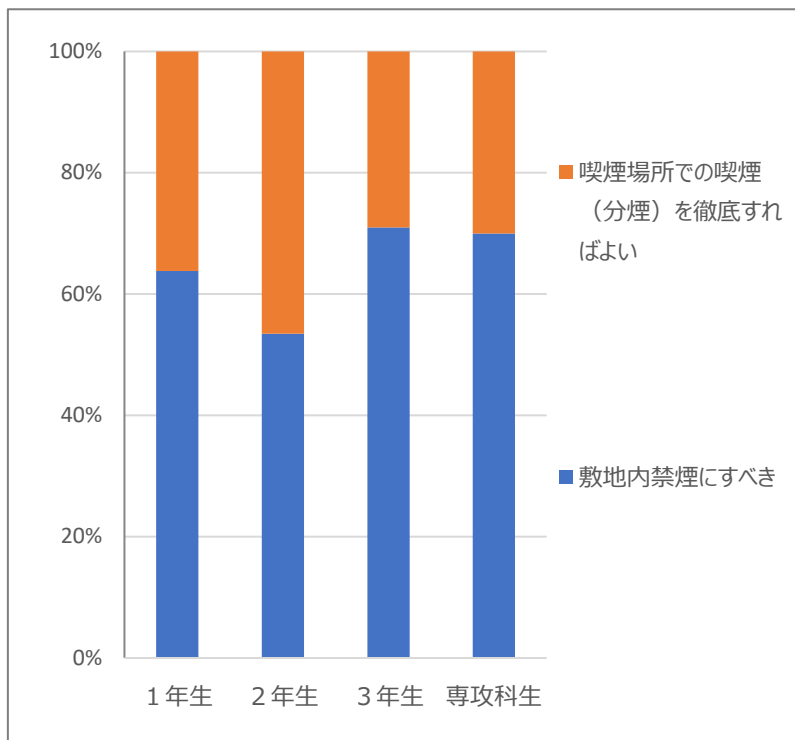
この設問は、楠元キャンパス内禁煙について回答を求めた。

全体として、「敷地内禁煙にすべき」が約 6 割、「喫煙場所での喫煙（分煙）を徹底」が約 4 割であった。前回と同様の傾向である。

学年別には、「敷地内禁煙すべき」と答えた学生の割合は、1 年生 63.8%、2 年生 53.4%、3 年生 71.1%、専攻科生 70.0%で、3 年生と専攻科生でやや高かった。

なお、2024 年 4 月より楠元キャンパスは敷地内禁煙となった。

敷地内禁煙について



[問 43]大麻、覚せい剤、危険ドラッグ等の薬物について選択してください。（複数回答可）

1. 使用したいと思わない
2. 使用してみたいと思ったことがある
3. 友人・知人で使用した人を見た（または聞いた）ことがある
4. 使用について誘われたことがある

問 43 表 全学年の選択肢別割合（％）

回答内容	今回	前回
1. 使用したいと思わない	96.9	97.9
2. 使用してみたいと思ったことがある	0.6	0.0
3. 友人・知人で使用した人を見たあるいは聞いたことがある	1.9	2.1
4. 使用について誘われたことがある	0.6	0.0
合計	100	100

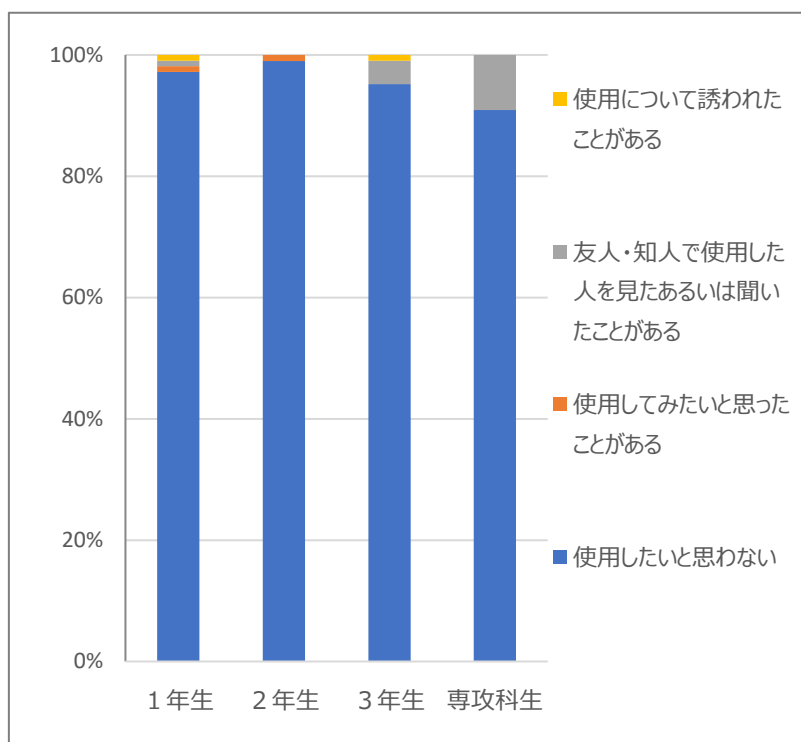
この設問は、大麻・覚醒剤などの薬物の使用についてどう思うかおよび経験の有無について回答を求めた。

全体としてみると、ほとんどの学生は「使用したいと思わない」と回答している。「使用してみたいと思ったことがある」と回答した学生は僅かにいたが、「友人、知人で使用した人を見た（または聞いた）ことがある」が 1.9%認められた。

前回と比較すると、「友人、知人で使用した人を見た（または聞いた）ことがある」学生は減少しているが、前回いなかった、「使用してみたいと思ったことがある」、「使用について誘われたことがある」と回答した学生がいた。

学年別にみると、「使用したいと思わない」学生の割合が、1 年生 97.2%、2 年生 99.0%、3 年生 95.2%、専攻科生 100.0%であり、1～3 年生では 100.0%となっていない。学生への適切な指導が必要と考える。

大麻・覚せい剤などの薬物について



[問 44] ボランティア活動に参加したことがありますか。

1. ある
2. ない

問 44 表 全学年の選択肢別割合（％）

回答内容	今回	前回
1. ある	39.9	36.2
2. ない	60.1	63.8
合計	100	100

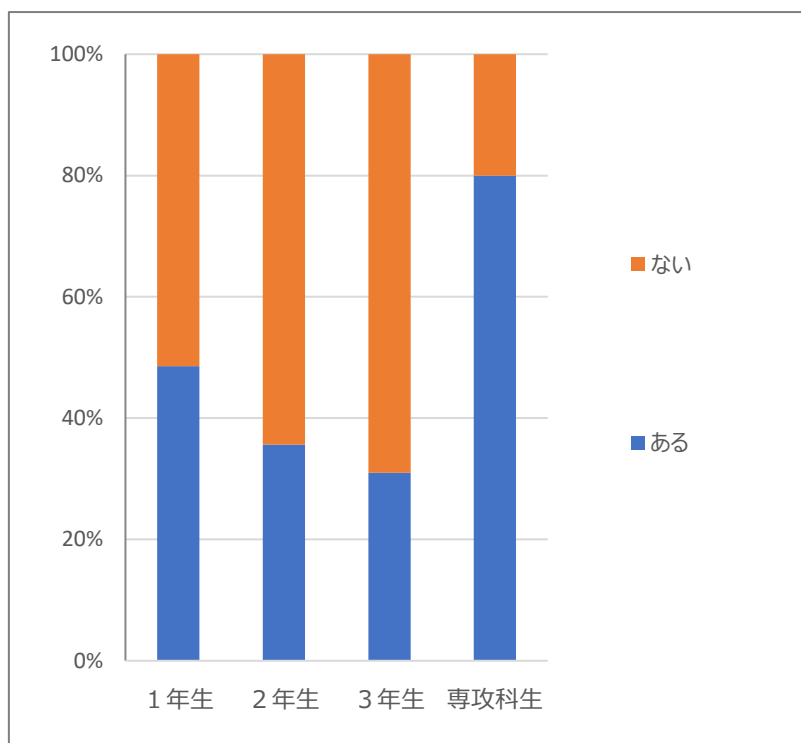
この設問では、ボランティア経験の有無について回答を求めた。

全体としては、ボランティア活動に参加した経験の「ある」学生が約 4 割, 「ない」学生が約 6 割である。

前回と比較すると、同様の傾向を示している。

学年別にみると、ボランティア活動経験者は、1 年生 48.6%, 2 年生 35.6%, 3 年生 31.0%, 専攻科生 80.0% である。経験者は専攻科生に多く、1～3 年生では学年が上がるに従って少なくなっていた。

ボランティア経験の有無



[問 45] ボランティア活動に参加しようと思いますか。

1. 参加しようと思う
2. 参加しようとは思わない

問 45 表 全学年の選択肢別割合 (%)

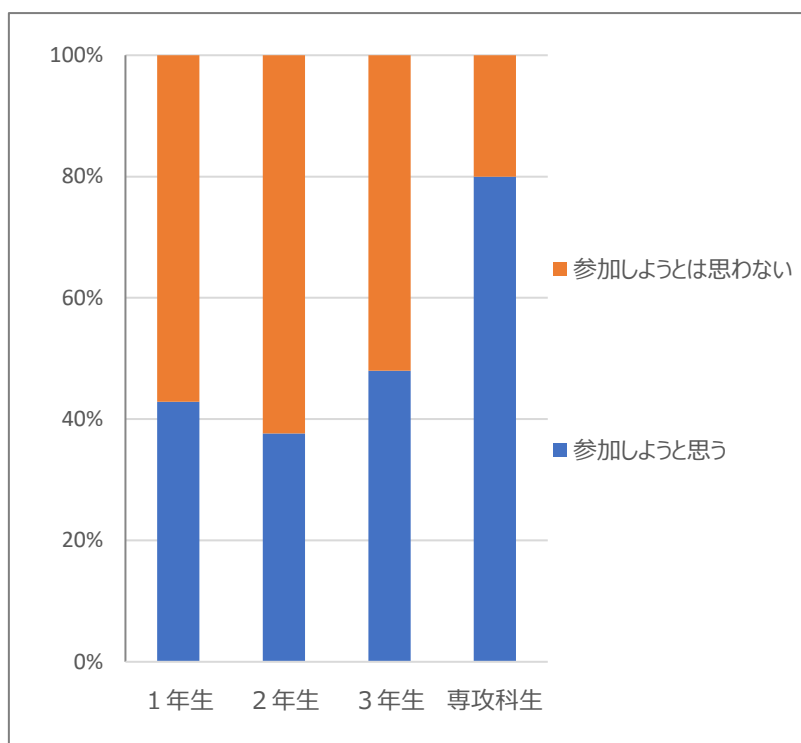
回答内容	今回	前回
1. 参加しようと思う	44.0	51.4
2. 参加しようとは思わない	56.0	48.6
合計	100	100

この設問では、今後ボランティア活動に参加したいかどうかについて回答を求めた。

全体としては、「参加しようと思う」学生が約 4 割で、「参加しようとは思わない」学生が約 6 割である。前回より「参加しようと思う」学生が減少している。

学年別にみると、ボランティアへの「参加意思のある」学生は、1 年生 42.9%、2 年生 37.8%、3 年生 48.0%、専攻科生 80.0%で、専攻科生で多く、1～3 年生ではほぼ同程度であった。

ボランティアへの参加意思



[問 46]過去にハラスメントをどこかで受けたことがありますか。(複数回答可)

1. 学外（アルバイト先も含む）
2. 通学途中
3. 学内のクラブ・サークル
4. 学内の教室
5. 学内のその他の場所
6. 受けたことがない

問 46 表 全学年の選択肢別割合（％）

回答内容	今回	前回
1. 通学途中	1.3	1.1
2. 学内のクラブ・サークル	0.0	0.5
3. 学内の教室	0.6	0.5
4. 学内のその他の場所	0.9	2.1
5. 学外（アルバイト先も含む）	9.7	9.0
6. 受けたことがない	87.5	86.8
合計	100	100

この設問では、過去にハラスメントをどこで受けたかについて回答を求めた。複数回答が可能であり、回答者数は1年生 107、2年生 101、3年生 101、専攻科生 11で、総回答者数は320である。図は各学年における総回答者数に対する割合を示す。

全体としては、ハラスメントを「受けたことがない」学生が9割弱で、受けたことのある学生は1割強である。受けた学生では、学外の割合が最も多く、次いで「通学途中」、学内のその他の場所である。

前回と比較すると、学外で受けた学生がやや増加し、学内のその他の場所が減少しているが、傾向は概ね変わらないと思われる。

学年別に比較すると、「受けたことがない」学生は1年生 88.8％、2年生 88.1％、3年生 88.1％、専攻科生 63.6％で、1～3年生では約9割の学生は受けていないが、専攻科生はそれに比べると少ない。

ハラスメントの経験

